



2023年5月

運用戦略部 シニア・インベストメント・ストラテジスト  
穂谷 栄一郎

運用戦略部 インベストメント・ストラテジスト  
柴戸 康輔

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

**大和証券**

Daiwa Securities

【商号等】大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

【加入協会】日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／

一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会／

一般社団法人日本STO協会

## クオリティ企業に注目！ アライアンス・バーンスタインが語る 米国株式市場とAB・米国成長株投信 の運用状況

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり)予想分配金提示型

Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型

追加型投信／海外／株式



■設定・運用は

**アライアンス・バーンスタイン**

【商号等】アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会／日本証券業協会／

一般社団法人日本投資顧問業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# 第一部 米国株式市場 見通し

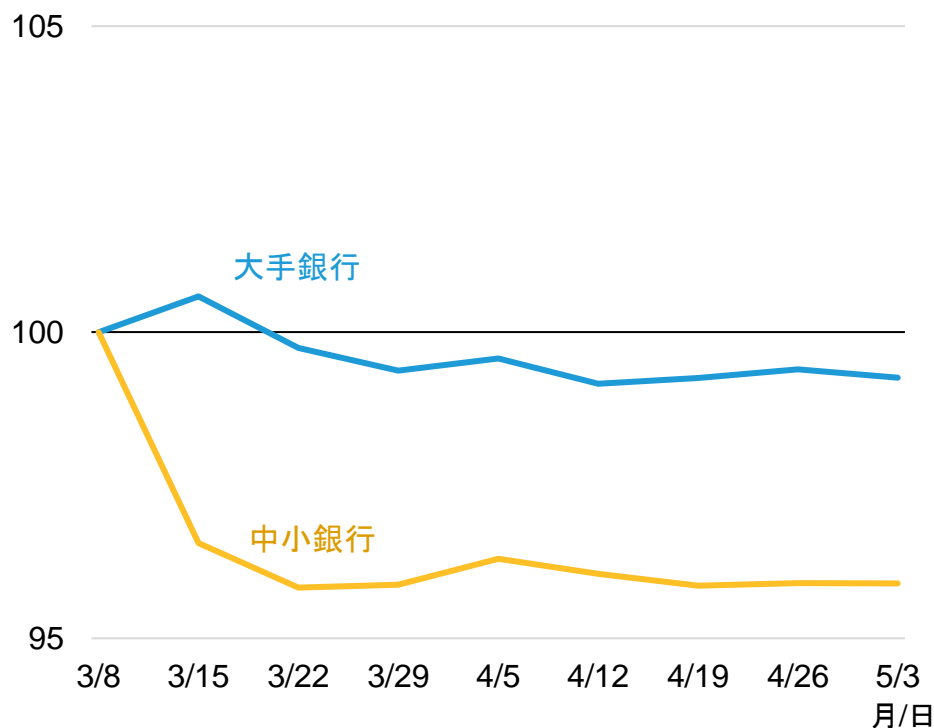
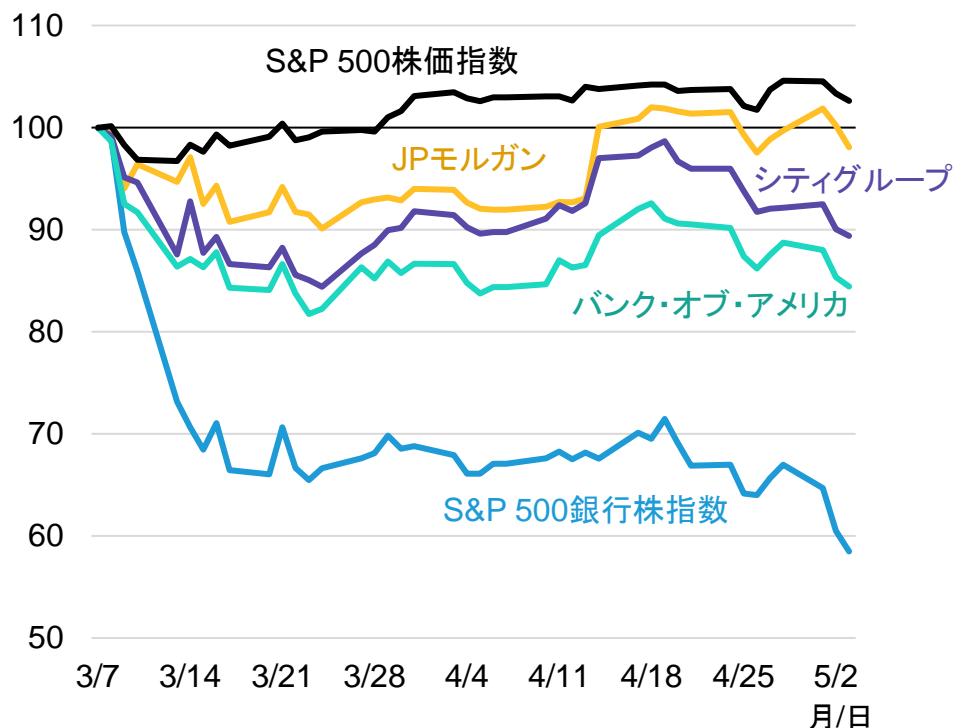


# 米国の金融不安は過ぎ去ったのか

中小銀行の預金解約はいったん落ち着いたものの、中小銀行の株価はさらに下落している

S&P 500株価指数およびS&P 500銀行株指数と  
米国大手銀行の株価推移\*

米国大手銀行と米国中小銀行の預金残高の推移\*\*



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

\*期間:2023年3月7日-2023年5月3日。日次ベース。2023年3月7日を100として指数化。

\*\*期間:2023年3月8日-2023年5月3日。週次ベース。2023年3月8日を100として指数化。米国中小銀行:米国大手銀行25行以外の全ての米国内商業銀行。

出所:リフィニティブ、米連邦準備制度理事会(FRB)、アライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」。アライアンス・バーンスタインはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。)



# 銀行監督体制に関する当局の今後の対応は？

- 1 急激に破綻した銀行への対応の検討
- 2 金利リスクの管理、有価証券の含み損の見直し
- 3 流動性規制、ストレステストの見直し

2023年4月末現在。

出所：AB

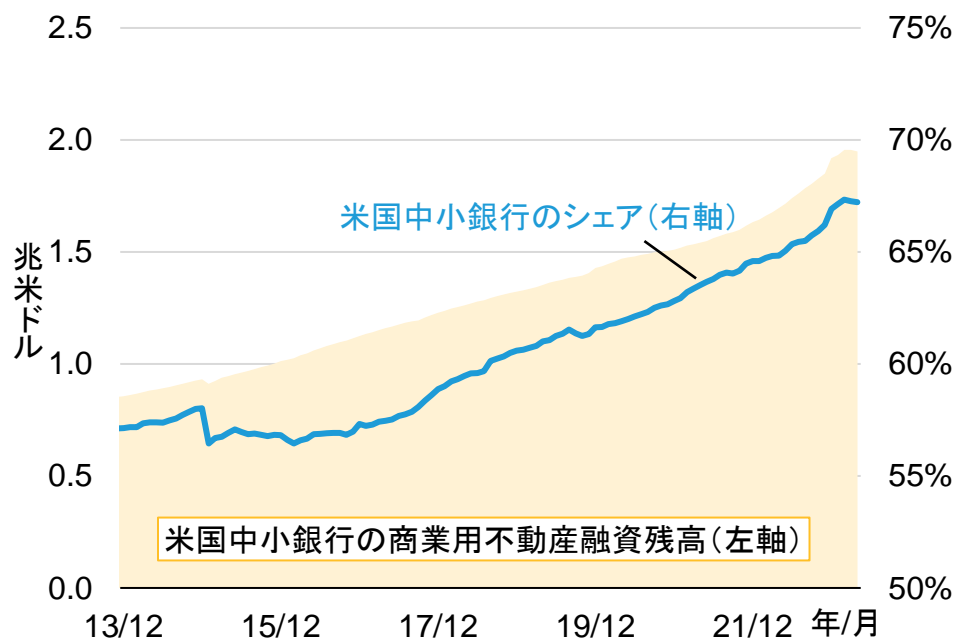


当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

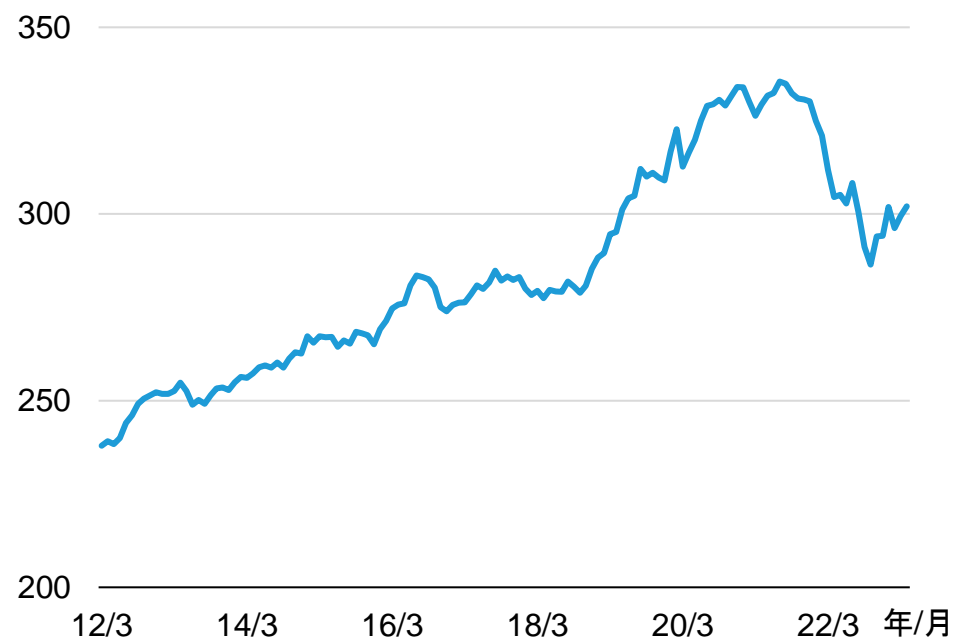
「クオリティ企業に注目！ABが語る米国株式市場とAB・米国成長株投信の運用状況」 4

# 商業用不動産へリスクは拡大する模様

米国中小銀行による商業用不動産向け融資残高および  
融資残高シェアの推移\*



CMBS (商業用不動産担保証券) 投資適格債指数の推移\*\*



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

\*期間: 2013年12月末-2023年4月末。月次ベース。米国中小銀行: 米国大手銀行25行以外の全ての米国内商業銀行

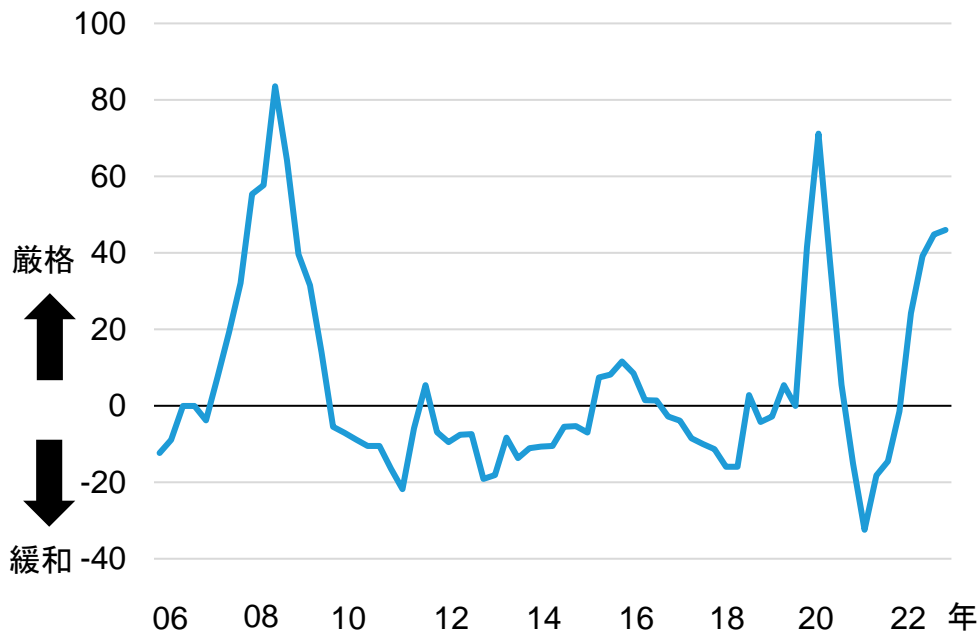
\*\*期間: 2012年3月-2023年4月。月次ベース。ブルームバーグ米国CMBS投資適格債指数。

出所: 米連邦準備制度理事会 (FRB)、リフィニティブ、AB

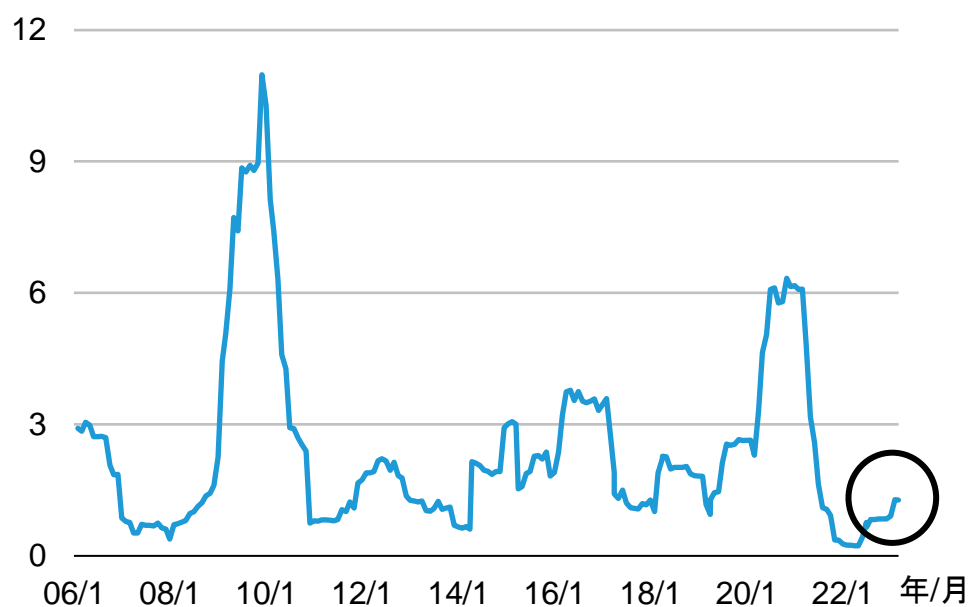


# 財務体質がぜい弱な企業へリスクは拡大する模様

米国 銀行の貸出態度推移(%)\*  
企業向け商工業ローンの基準を厳格化した銀行の割合



米国ハイイールド社債の発行企業のデフォルト率(%)\*\*



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

\*期間:2006年1月-2023年3月。四半期ベース。\*\*期間:2006年1月-2023年3月。月次ベース。

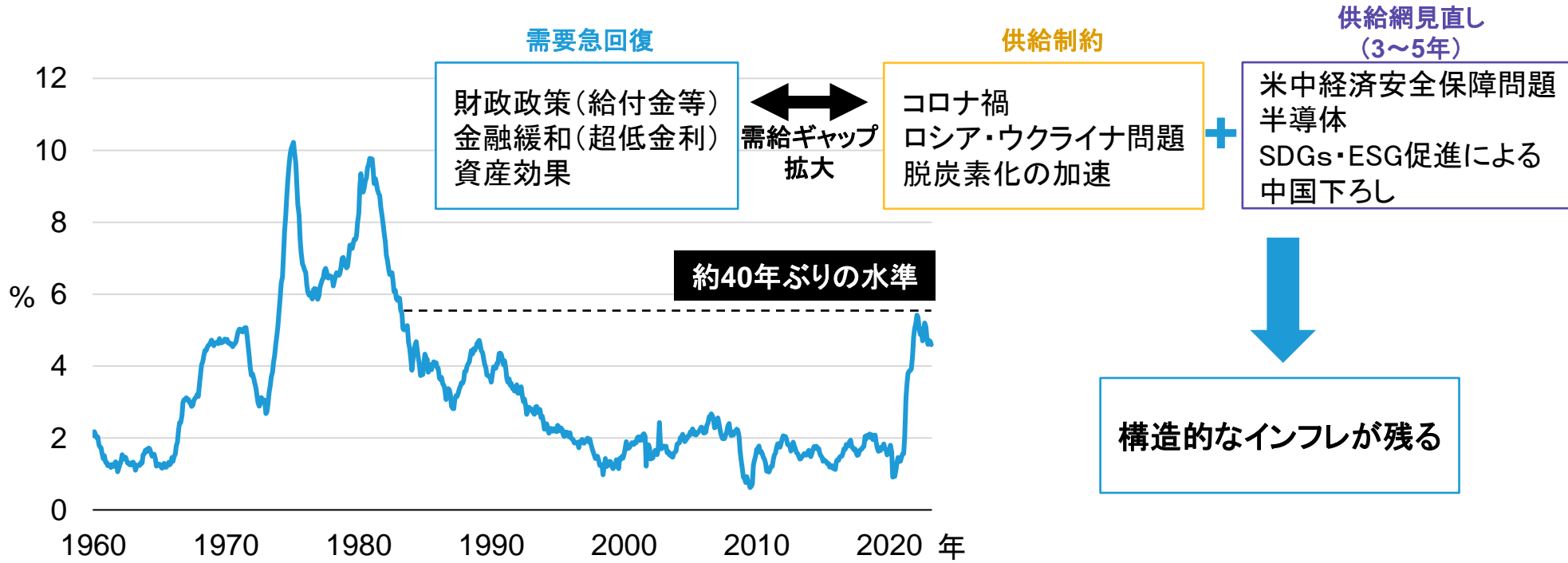
出所:JPモルガン、リフィニティブ、AB



当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

# 構造上のインフレが残る可能性

PCE(個人消費支出)コア価格指数の推移(前年同月比)

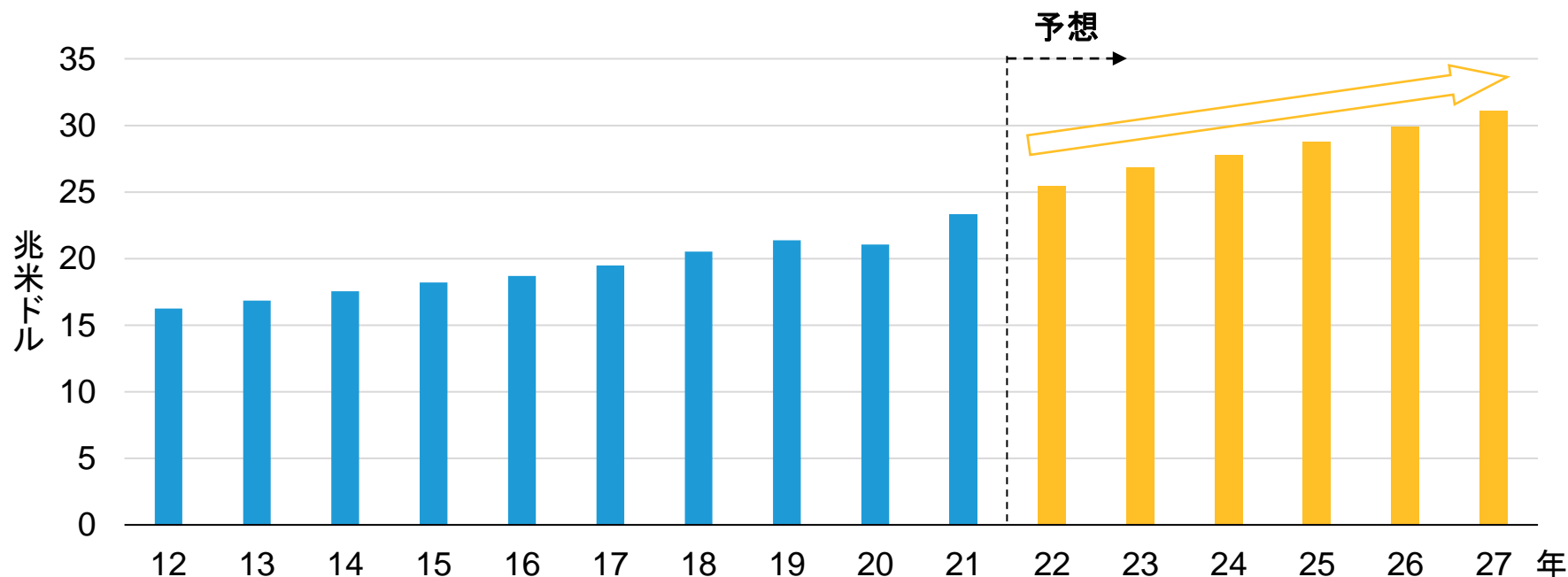


過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。  
 期間: 1960年1月-2023年3月。月次ベース。PCEコア価格指数は、PCE価格指数から価格変動が激しい食品およびエネルギーを除いたもの。  
 出所: リフィニティブ、AB

# 米国の“名目”GDPは一段と成長する見込み

インフレの要因が加わり、名目GDPは2027年に30兆米ドルを超える見込み

## 米国の名目GDPの推移



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。

期間：2012年-2027年。2022年以降は国際通貨基金（IMF）による2023年4月現在の予想。

出所：IMF、ブルームバーグ、AB



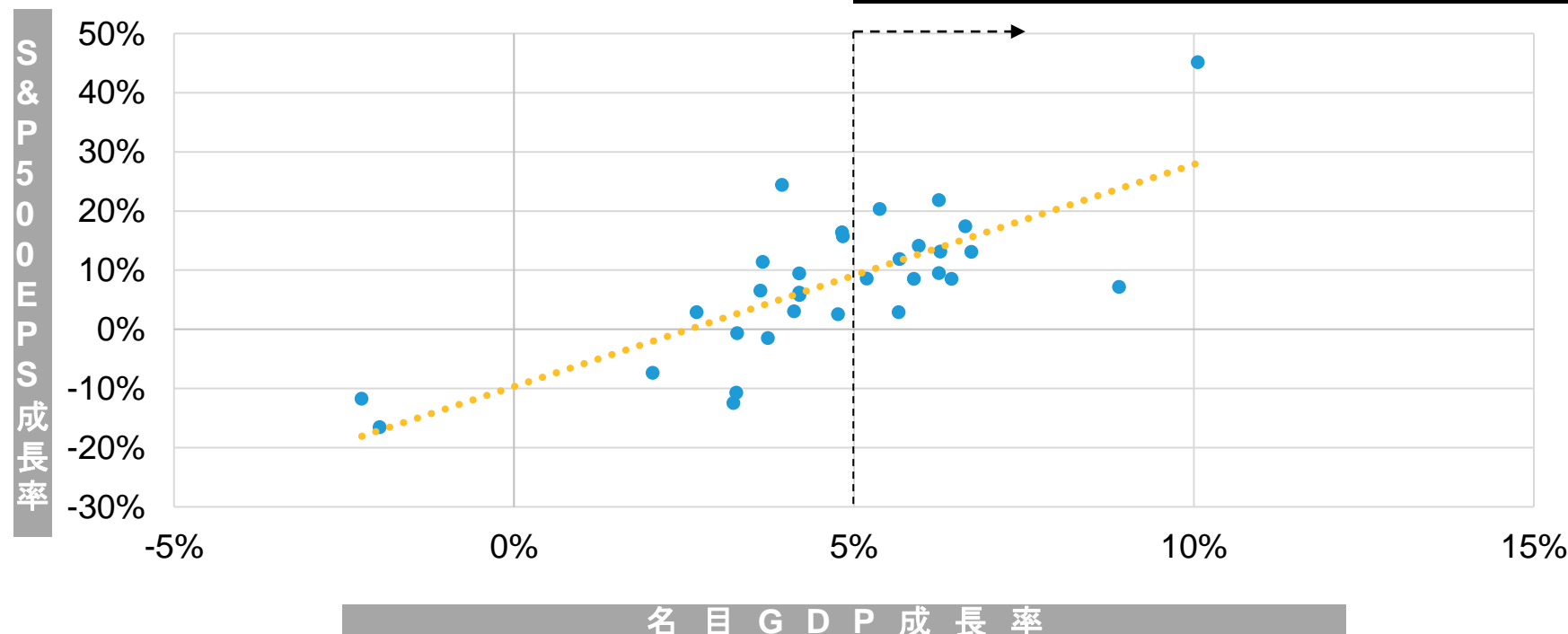


# 米国の“名目”GDPと米国企業の利益成長率

インフレは企業業績において必ずしも悪いことではない

米国の名目GDP成長率とS&P 500の一株当たり利益(EPS)成長の推移

5%前後の名目GDP成長で一株当たり利益は二桁前後の成長



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

期間: 1990年 - 2022年(2023年3月15日現在)。年次ベース。

出所: リフィニティブ、AB



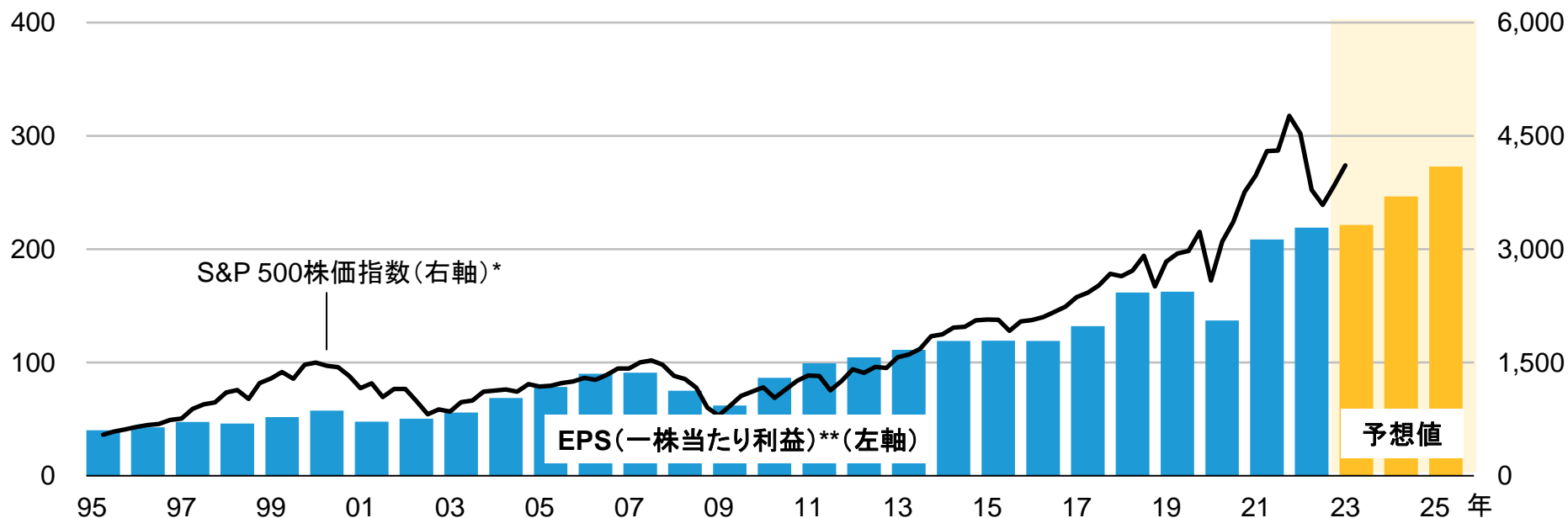
当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

「クオリティ企業に注目！ABが語る米国株式市場とAB・米国成長株投信の運用状況」 9

# 米国株式見通し：2024年以降に拡大する見込み

2023年の企業利益は下方修正が続く可能性

## 企業利益と株価トレンド



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。

S&P 500 株価指数のデータに基づき算出

\*期間：1995年6月末－2023年3月末。四半期ベース。米ドルベース。

\*\*期間：1995年－2025年。年次ベース。2023年以降は2023年5月8日現在のファクトセット・コンセンサス予想(指数)

出所：ファクトセット、AB

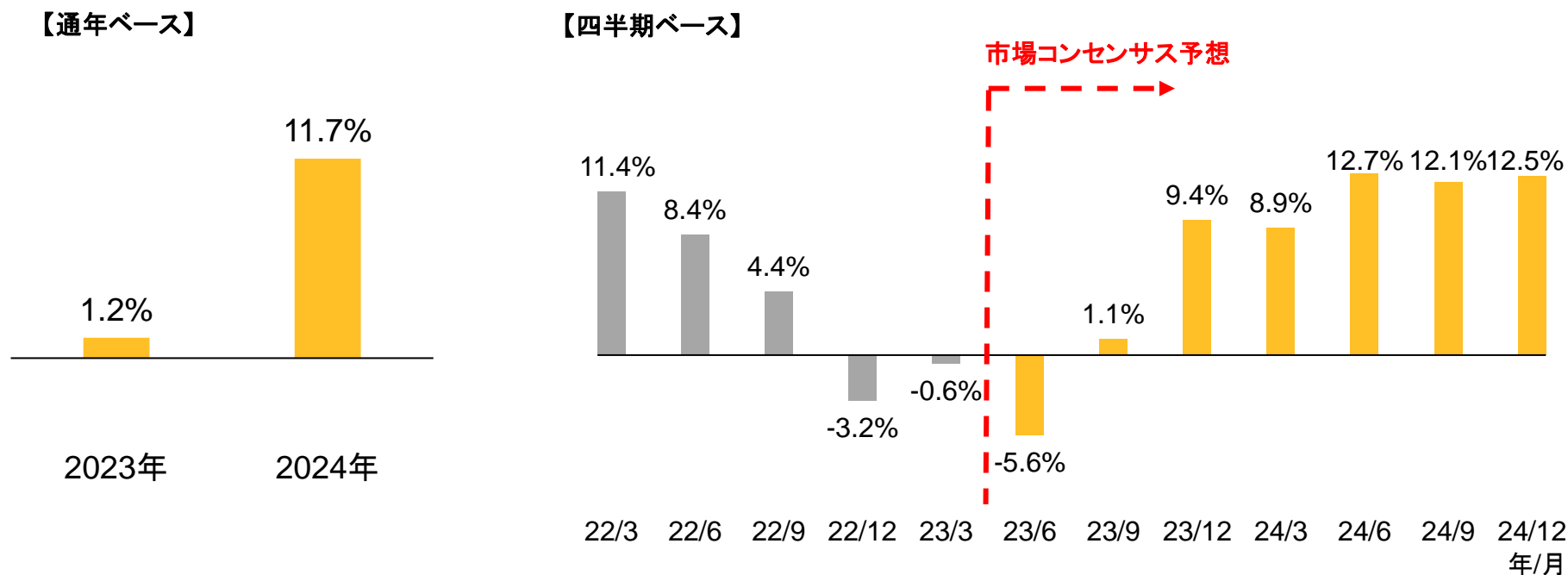


# 企業業績は2023年下期に回復に転じる見込み

2024年の通年予想は二桁成長まで改善する見込み

## 米国株式EPS成長率の推移(前年同月比)

■ EPS成長率      ■ 市場コンセンサス予想EPS成長率



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。

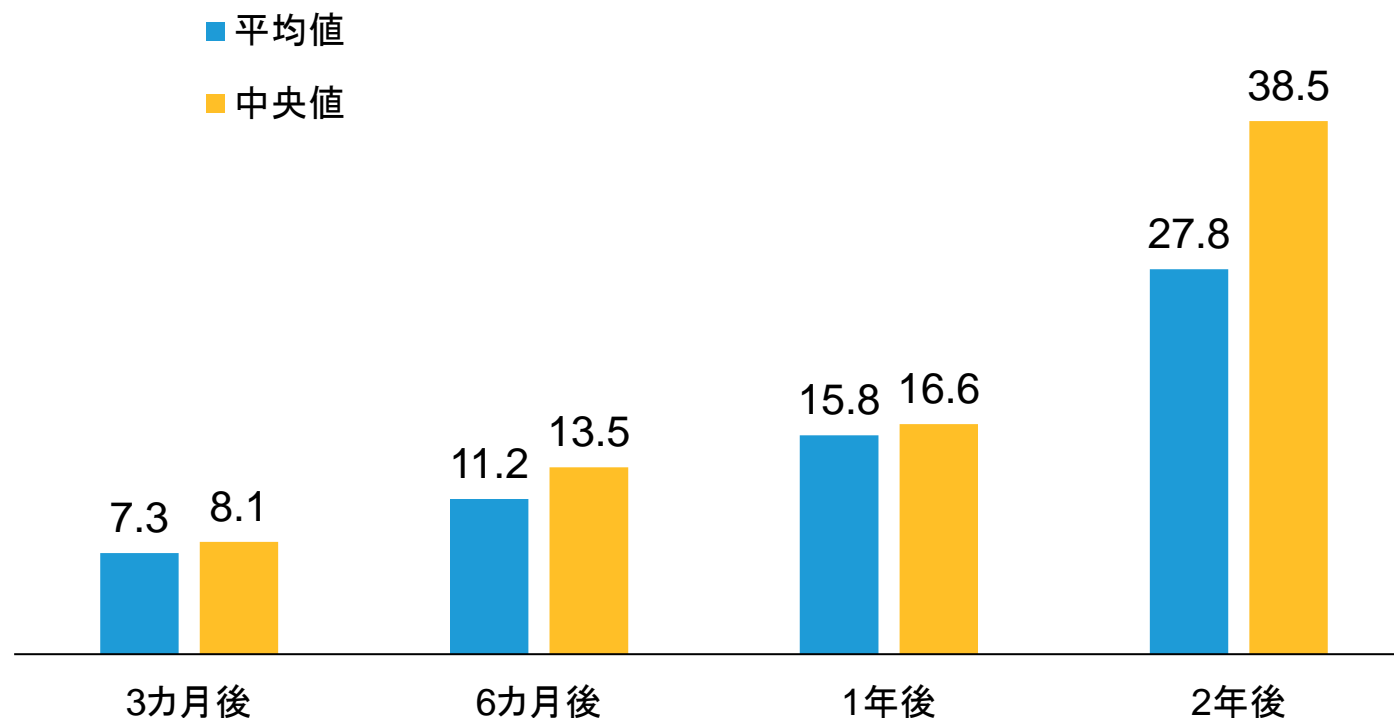
四半期ベースの期間：2022年1-3月期～2024年10-12月期。通年ベース、および四半期ベースの2023年6月以降は、2023年5月12日時点のリフィニティブによるコンセンサス予想。四半期ベースにおける2023年3月の成長率は2023年5月12日時点における決算未発表企業の予想値を含む。

出所：リフィニティブ、AB



# 株価は利上げ停止後に好パフォーマンス

過去6回の利上げ停止後\*のS&P 500株価指数のパフォーマンス (%)



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

2023年5月12日現在。\*過去6回の米国政策金利ピーク到達時(1984年8月、1989年2月、1995年2月、2000年5月、2006年6月、2018年12月)から3カ月、6カ月、1年、2年経過後のリターン。

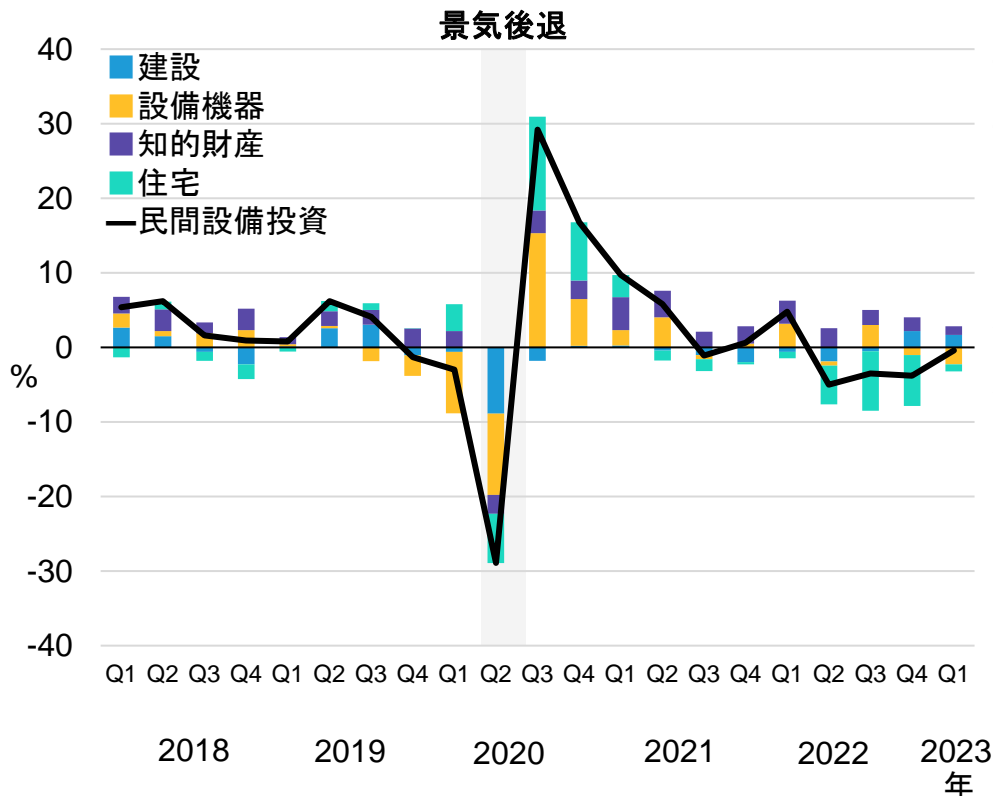
出所: フルームバーグ、AB



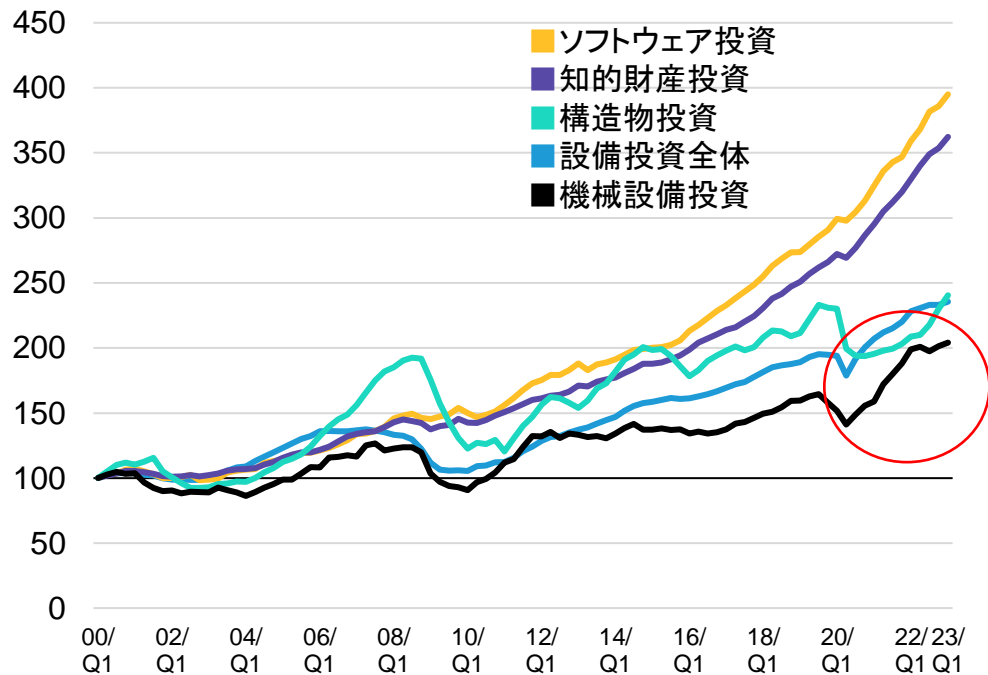
# 米国 企業の設備投資は堅調に推移

## 特に知的財産投資が堅調、地政学リスクによって機械設備投資も急増

米国の項目別設備投資(前年同期比)\*  
知的財産への投資は、ほぼプラスを維持



米国の項目別設備投資の伸び\*\*  
地政学リスクによって、機械設備への投資が急増



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

\*期間: 2018年1-3月期-2023年1-3月期。 \*\*期間: 2000年1-3月期-2023年1-3月期、2000年1-3月期を100として指数化。

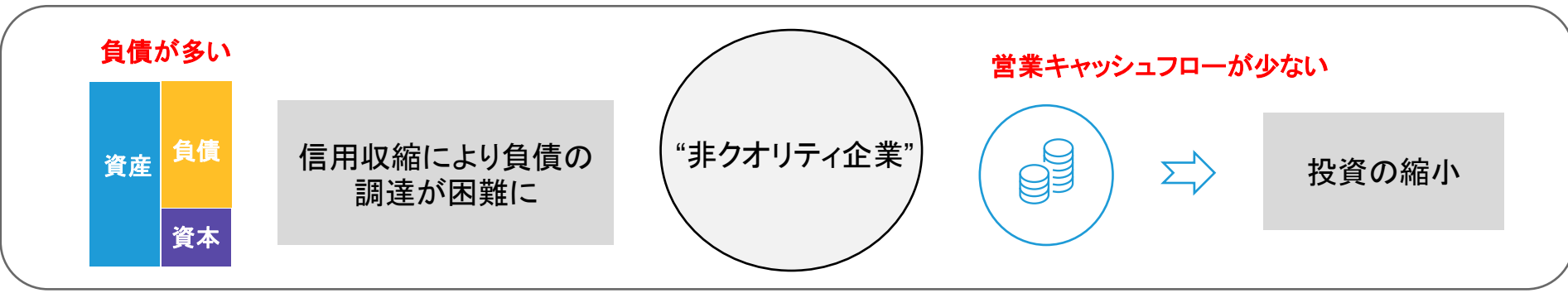
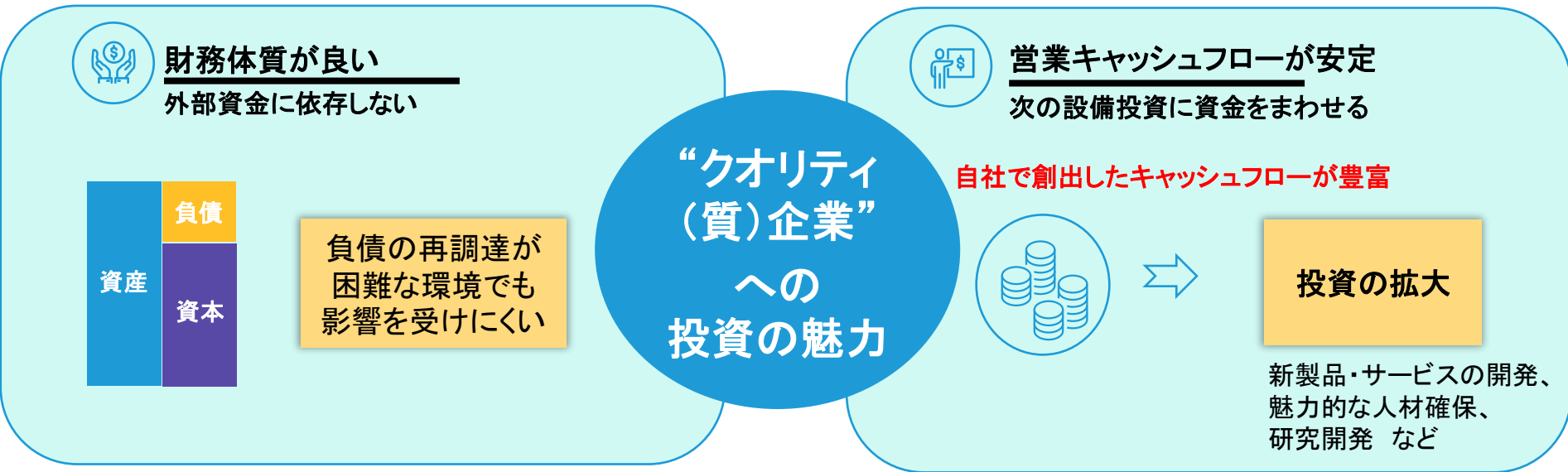
出所: リフィニティブ、AB



当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

# “クオリティ(質)”を重視し、次なる種をまける企業へ・・・

クオリティの高い持続的な成長企業は、自ら創出したキャッシュで成長を続ける「好循環」を維持できる

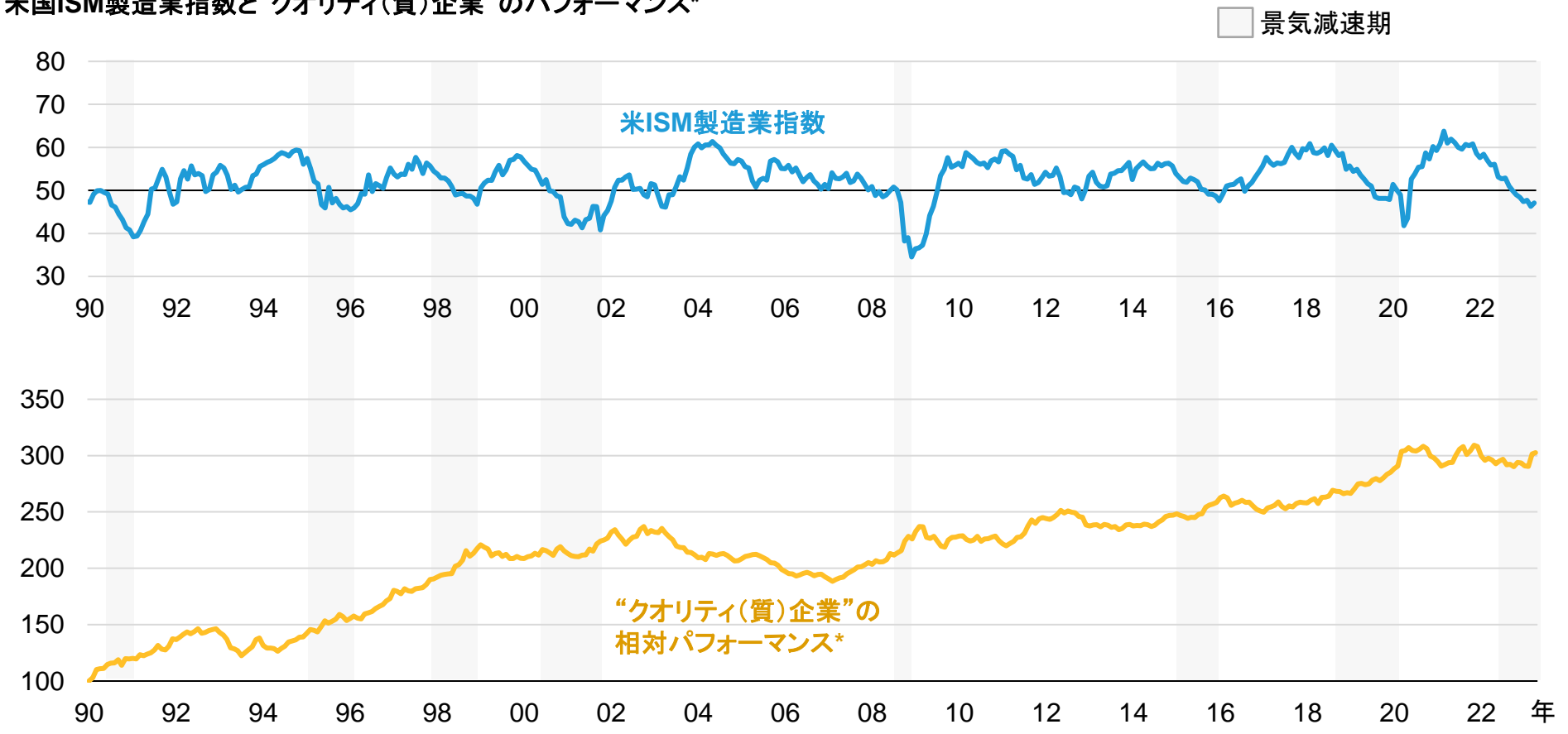


上記は説明のためのイメージ図です。  
出所: AB

# 景気減速期こそ相対的に運用成果が良い“クオリティ企業”

今後、経済が低成長となる可能性がある中でも、成長が期待できる個別企業を発掘すべき

米国ISM製造業指数と“クオリティ(質)企業”のパフォーマンス\*



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。  
 期間：1990年1月-2023年4月。\*MSCIクオリティインデックスとMSCI米国インデックスとの相対パフォーマンス。1990年1月を100として指数化。  
 出所：リフィニティブ、AB

# まとめ

- 1 金融規制強化が進むなかでは、商業用不動産など与信がダブっている資産、低格付企業などへの投資を控える
- 2 インフレは続くが、名目GDPはさらに成長、長期的に企業利益も伸びる見通し。短期的にも利上げ停止、企業業績の底打ち感から、株式市場は反転の兆し
- 3 その中でも次なる成長の種をまける“クオリティ企業”に着目

予想は今後変更される可能性があります。

2023年4月末現在。

出所: AB



当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

「クオリティ企業に注目！ABが語る米国株式市場とAB・米国成長株投信の運用状況」16



# 第二部

## 「アライアンス・バーンスタイン・ 米国成長株投信」 運用状況と今後の見通し

# 外部評価機関からも高い評価を獲得

5年連続受賞！

**Bコース受賞**  
(2022年2月受賞)



モーニングスター アワード  
ファンド オブ ザ イヤー 2021  
『優秀ファンド賞』受賞  
(国際株式(グローバル・除く日本)型 部門)

**Bコース受賞**  
(2023年3月受賞)



リフィニティブ・リップパー・  
ファンド・アワード ジャパン 2023  
『最優秀ファンド賞』受賞  
(投資信託／株式型 米国(評価期間10年))

**BコースおよびDコース受賞\***  
(2023年4月受賞)



R&Iファンド大賞 2023  
『優秀ファンド賞』受賞  
(投資信託／北米株式グロース部門)

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

全てのアワードの詳細は32頁を参照ください。\*Bコースは2015年から2023年まで9年連続の受賞。Dコースは2018年から2023年まで6年連続の受賞。

出所: モーニングスター、リフィニティブ、R&I、AB



当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

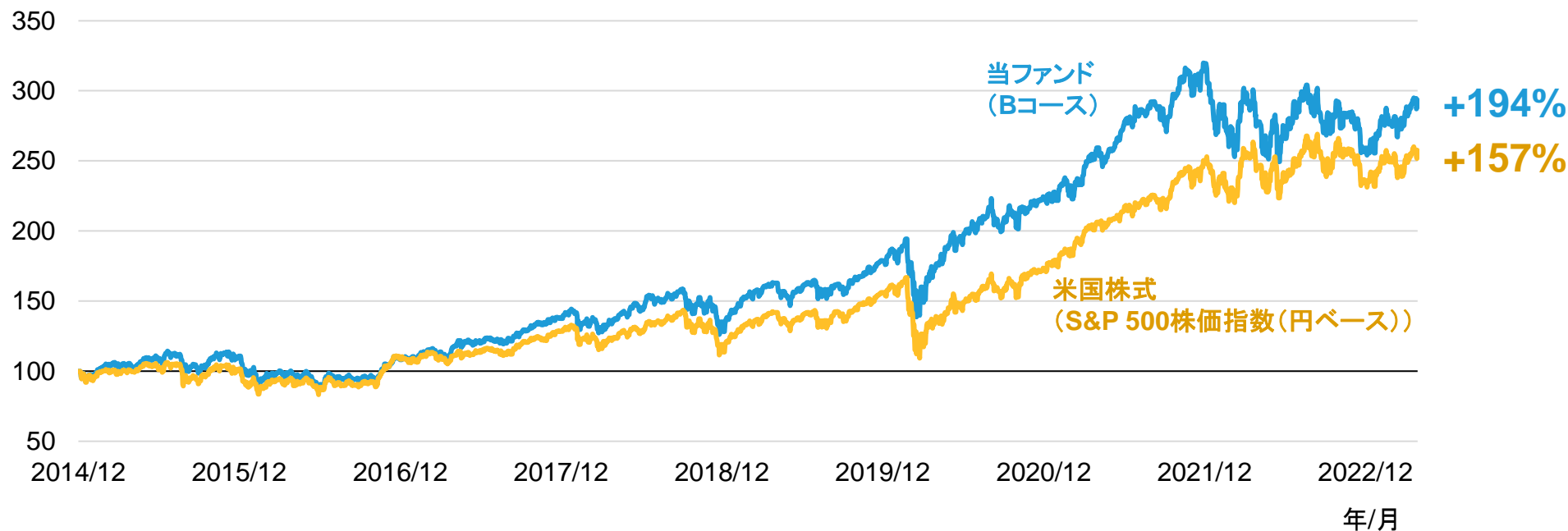
「クオリティ企業に注目！ABが語る米国株式市場とAB・米国成長株投信の運用状況」18

# 長期的に米国株式市場を上回るパフォーマンスを実現

## 過去約8年間のパフォーマンス

過去約8年間の当ファンドBコース(為替ヘッジなし)基準価額\*と米国株式(S&P 500株価指数)の推移

期間:2014年12月31日ー2023年4月28日(2014年12月31日を100として指数化)



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

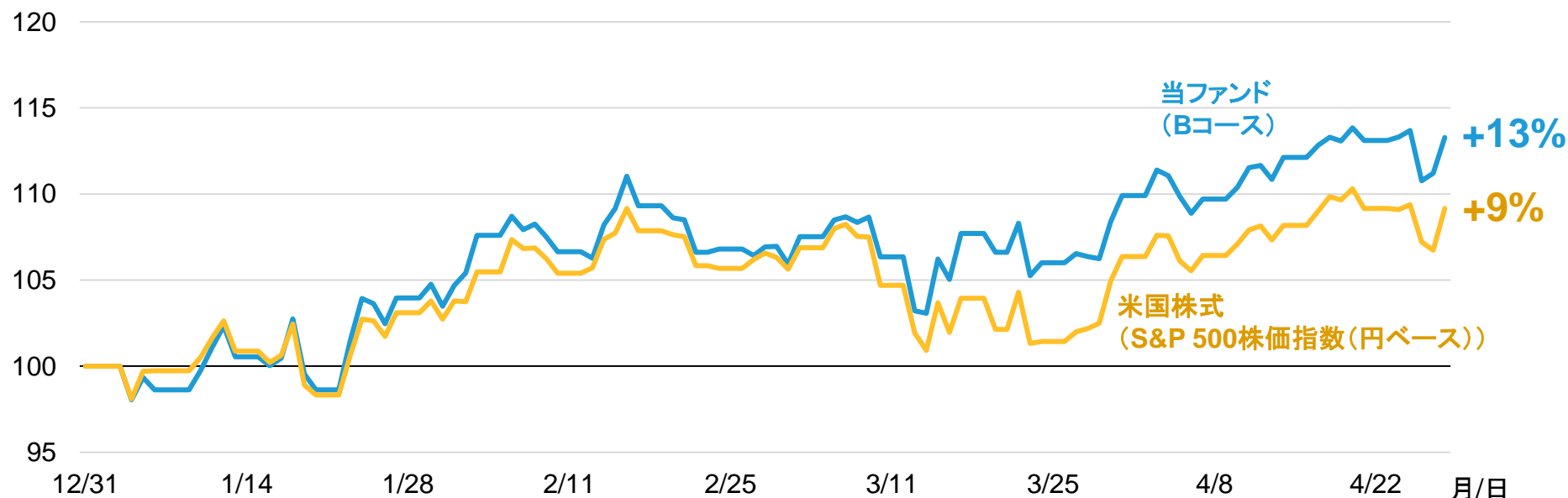
\*基準価額および騰落率は、分配金(課税前)再投資の基準価額を用いて計算しています。基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。分配金(課税前)再投資の基準価額とは、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスです。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。S&P 500株価指数は配当金込み。

出所:ブルームバーグ、AB



# 足元、年初来で堅調なパフォーマンス

2023年初来の当ファンドBコース(為替ヘッジなし)基準価額\*と米国株式(S&P 500株価指数)の推移  
 期間:2022年12月31日ー2023年4月28日(2022年12月31日を100として指数化)



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

\*基準価額および騰落率は、分配金(課税前)再投資の基準価額を用いて計算しています。基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。分配金(課税前)再投資の基準価額とは、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスです。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。S&P 500株価指数は配当金込み。

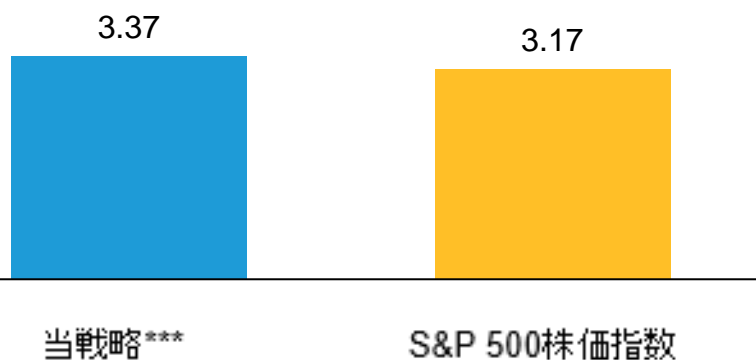
出所:ブルームバーグ、AB



# どんな局面でも市場の上昇をとらえ、下落の影響を抑制

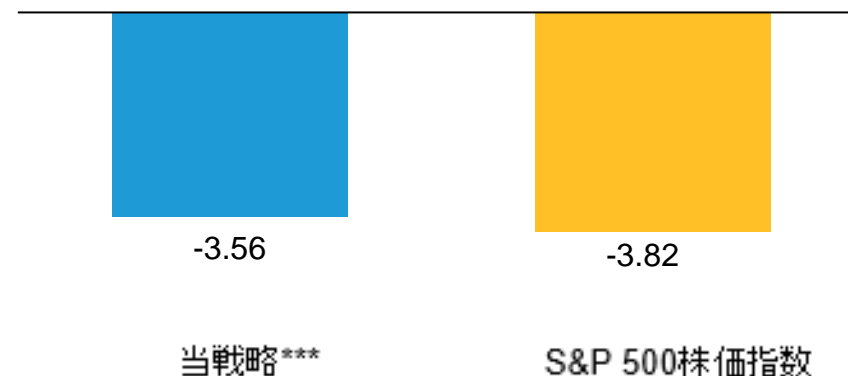
2012年4月\* - 2023年4月

市場が上昇した月の平均リターン\*\* (%)



**上昇追随率: 106.3%**

市場が下落した月の平均リターン\*\* (%)



**下落追随率: 93.1%**

過去の実績や分析は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

\*現運用チームによる運用開始: 2012年4月1日。 \*\*平均リターンは米ドルベース。 \*\*\*当ファンドの運用戦略(米国大型成長株戦略)。当ファンドが採用する運用戦略のコンポジットのリターン(費用控除前)を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありませんのでご注意ください。コンポジットとは、類似の投資戦略、投資方針に基づいて運用される1つ以上のファンドの運用実績を、一定基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。 出所: AB



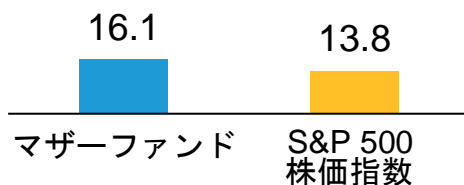
利益を将来の為に再投入し  
外部環境に左右されにくく、  
長期にわたって安定成長できる  
卓越したビジネスに投資

# 銘柄選択で重視する3つの視点

“外部環境に左右されにくく、長期にわたって持続的に成長できる卓越したビジネス”

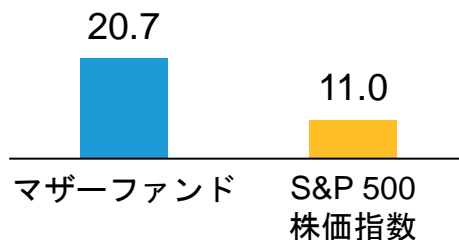
## ①高い収益性の持続力

＜主な指標＞総資産利益率(%、ROA\*)の持続



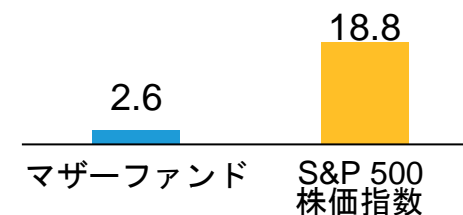
## ②高い投資効率

＜主な指標＞高い投下資本利益率(%、ROIC\*\*)



## ③強固な財務体質

＜主な指標＞資本に対する純負債の割合(%)が低い



『持続的な  
成長企業』

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

2022年12月末現在。マザーファンドは「アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド」。キャッシュを除きます。\*金融株を除きます。

\*\* (営業利益 × (1 - 実効税率)) ÷ (株主資本 + 有利子負債) で算出される。企業がビジネスに投じた資金を使ってどれだけの利益を生み出したかを示す指標。

出所: ファクトセット、AB



当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

「クオリティ企業に注目！ABが語る米国株式市場とAB・米国成長株投信の運用状況」23

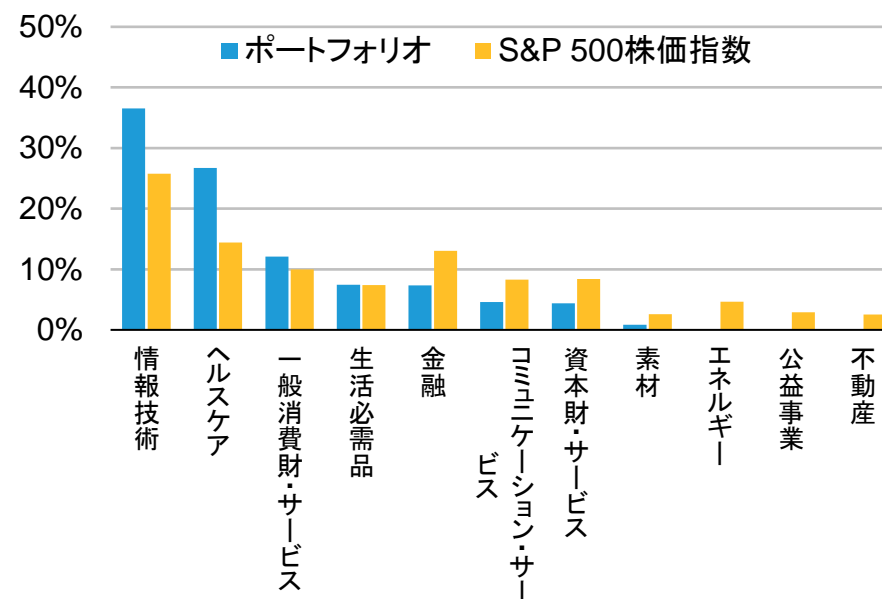
# マザーファンドのポートフォリオの状況

2023年4月末現在

保有上位10銘柄(保有銘柄数:56)

銘柄名	セクター	比率
マイクロソフト	情報技術	9.7%
ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	5.5%
VISA	金融	5.3%
アルファベット	コミュニケーション・サービス	4.4%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	3.7%
バーテックス・ファーマシューティカルズ	ヘルスケア	3.3%
ゾエティス	ヘルスケア	3.2%
モンスター・ビバレッジ	生活必需品	3.2%
コストコ・ホールセール	生活必需品	3.1%
エヌビディア	情報技術	2.9%

セクター別配分\*



過去の実績や分析は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また組入れを示唆・保証するものではありません。

2023年4月28日現在。アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドのデータに基づきます。小数点第2位を四捨五入しています。また、同一発行体で種類の異なる株式の比率は合算しています。\*セクター別配分は、株式部分を100%として算出しており、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard(GICS)の分類で区分しています。

出所: ファクトセット、AB





# AI\*へのシフトはポートフォリオの成長機会を高めている

## ハードウェア



### エヌビディア

GPUの支配的サプライヤー

### アリスタ・ネットワークス

クラウド・ネットワーキング機器等の提供

### クアルコム

モバイル向け半導体を提供

## インフラ(クラウド)



### マイクロソフト

### アマゾン・ドット・コム

### グーグル

AIインフラ構築の大部分を担い、  
AI活用ニーズに対応

## ソフトウェア



### マイクロソフト

業務用アプリケーション

### アドビ

クリエイティブ・アプリケーション

### グーグル、マイクロソフト

情報検索アプリケーション

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また組入れを示唆・保証するものではありません。

2023年3月31日現在。\*AI: 人工知能

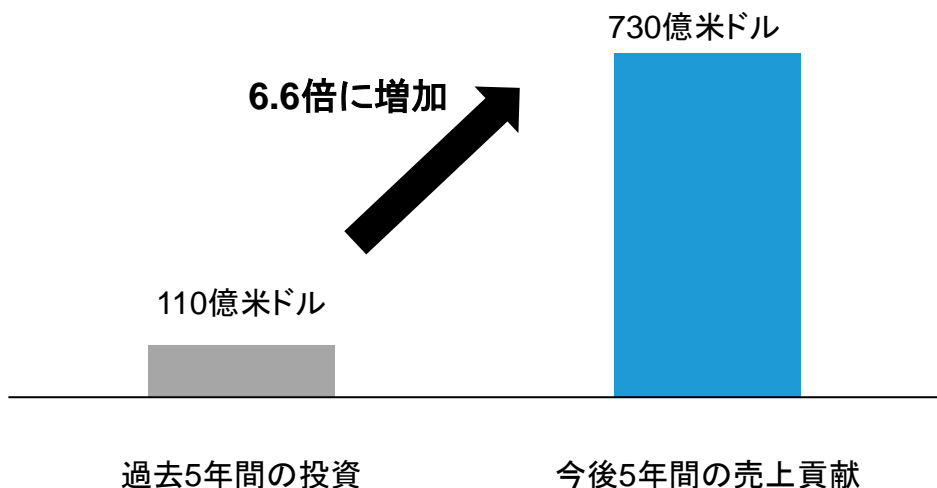
出所: 会社レポート、AB



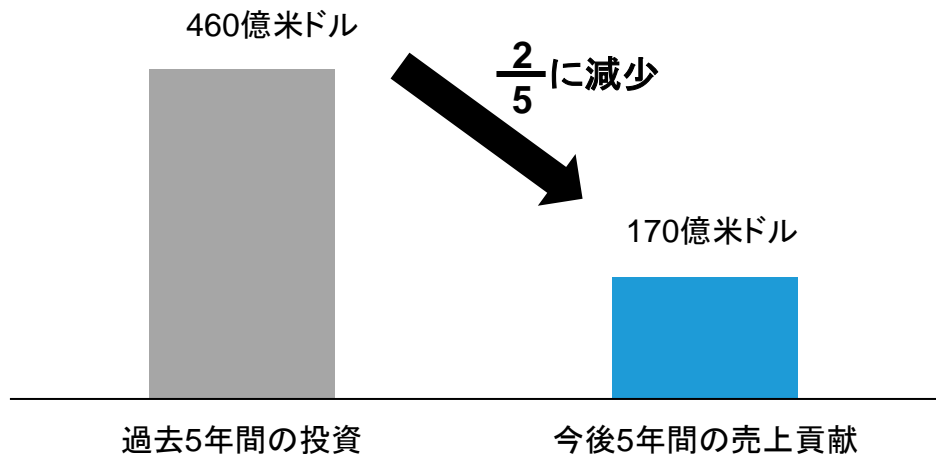
# マイクロソフトとメタ・プラットフォームズ

2つの成長領域で異なる投資効率: AIはメタバースよりも収益貢献への道筋が明確

## マイクロソフト



## メタ・プラットフォームズ



OpenAIへの110億米ドルの投資が今後5年間で730億米ドルの売上増につながると予想

VR/AR技術への460億米ドルの投資に対し、今後5年間のフェイスブック・リアリティ・ラボ (VR/AR部門) の売上増は170億米ドルと予想

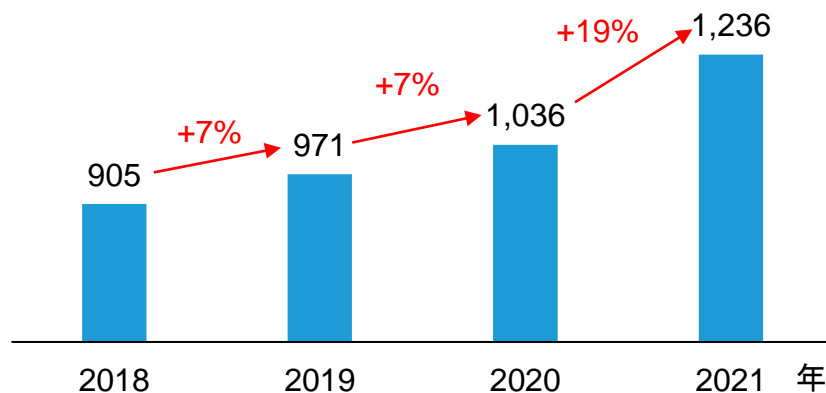
過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。2023年3月31日現在。

出所: 会社レポート、AB

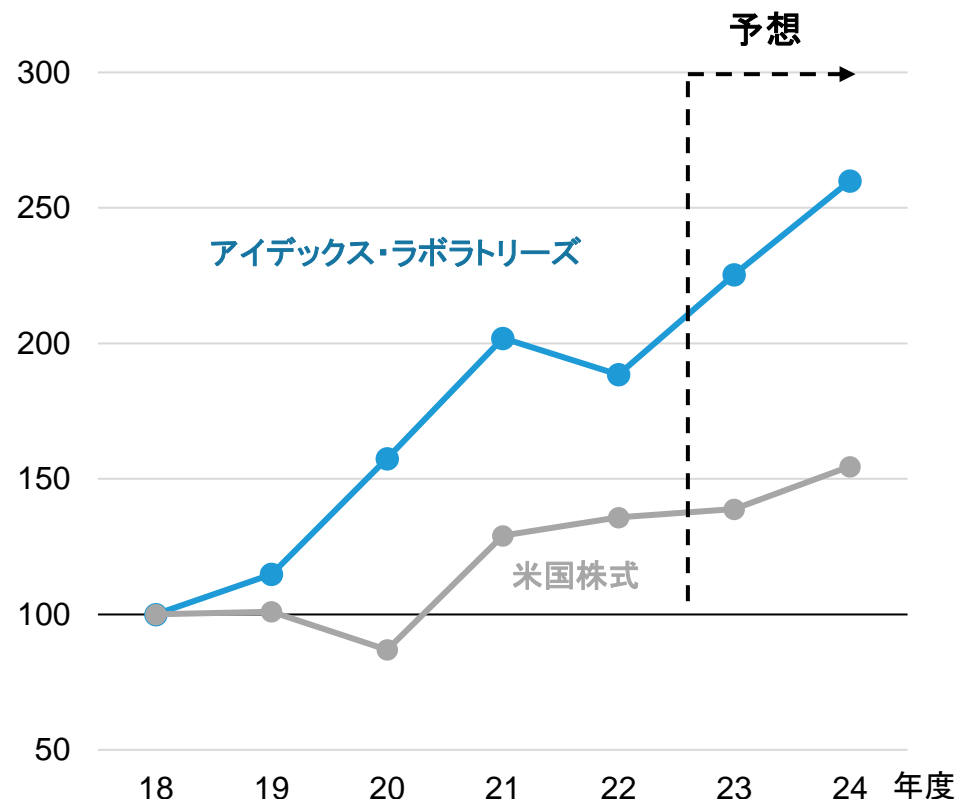
# アイデックス・ラボラトリーズ(ヘルスケア)

コロナ禍でのペット飼育率が上昇、成長に伴う医療費増加で今後中長期的な成長が見込まれる

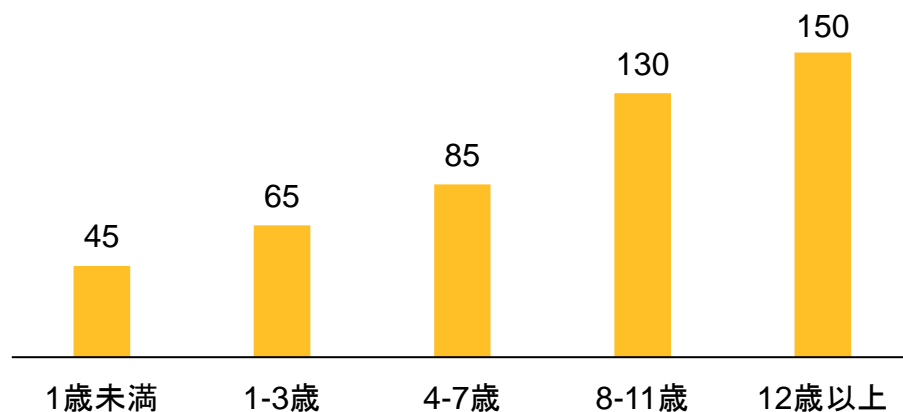
米国におけるペット関連支出の推移(億米ドル)\*



同社のEPS(1株当たり利益)の推移\*\*\*



ペット年齢別の診断関連収益(2022年平均、米ドル)\*\*



過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。

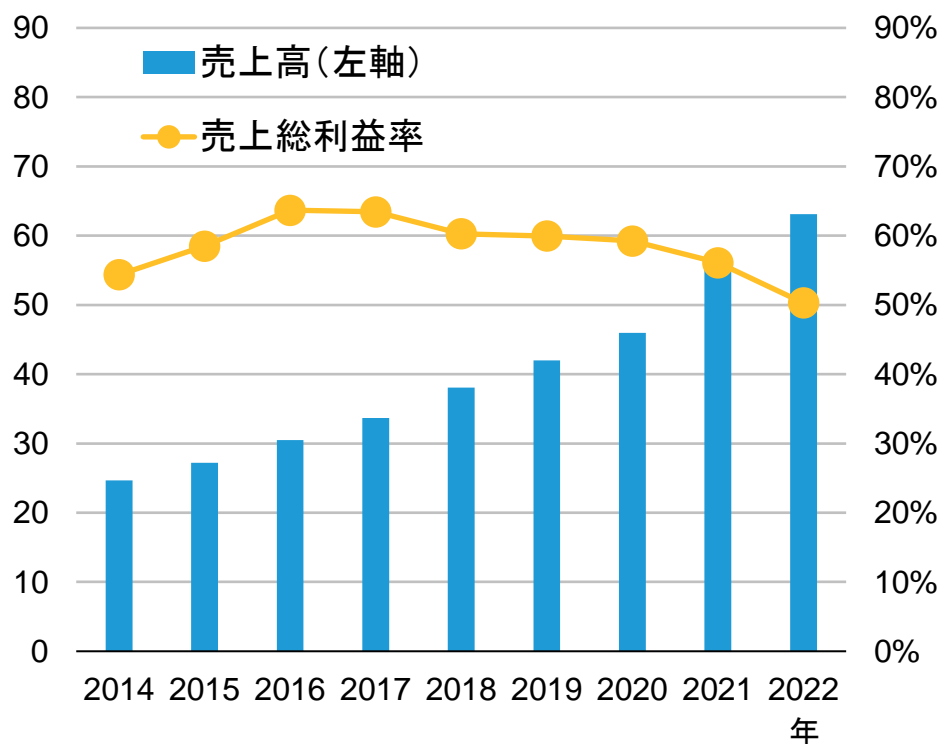
\*期間:2018年-2021年。\*\*米国内におけるアイデックス・ラボラトリーズの顧客調査によるデータ。\*\*\*期間:2018年度-2024年度。年度ベース。2018年度を100として指数化。アイデックス・ラボラトリーズのEPSは会計年度ベース、S&P 500株価指数のEPSは暦年ベース。出所:企業レポート、APPA、Statista、ファクトセット、AB



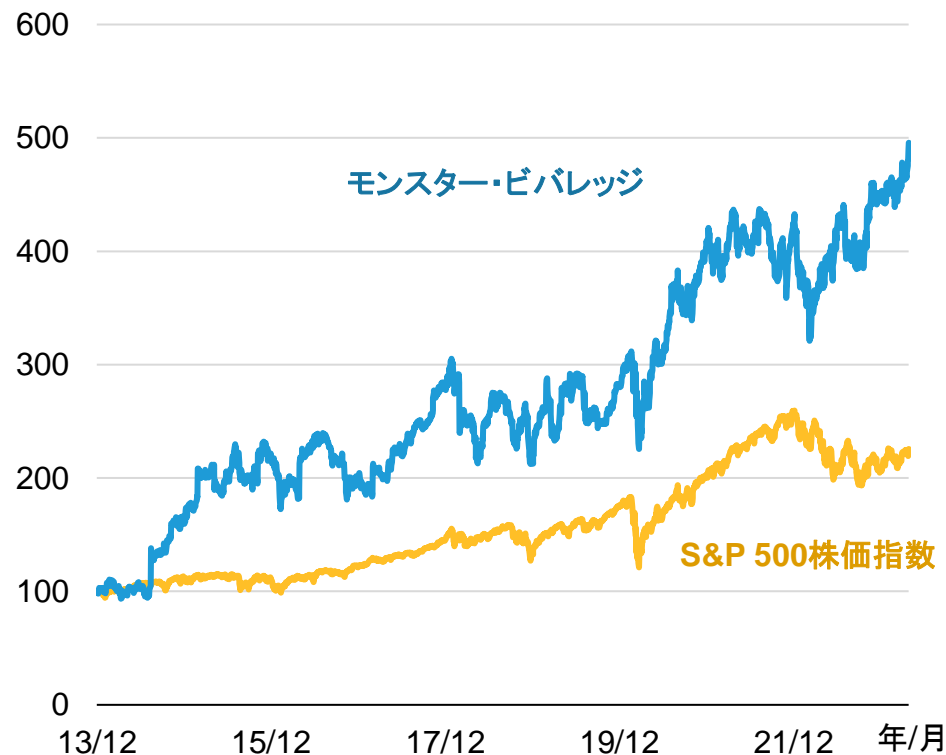
# モンスター・ビバレッジ(生活必需品)

商品への価格転嫁と原材料費の低下を通じ、今後の利益回復の可能性に期待

売上高・利益率\*



同社の株価推移\*\*



過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。

\*期間：2014年 - 2022年。\*\*期間：2013年12月31日-2023年4月28日。日次ベース。2013年12月31日を100として指数化。モンスター・ビバレッジは2023年3月に1対2の株式分割を実施。

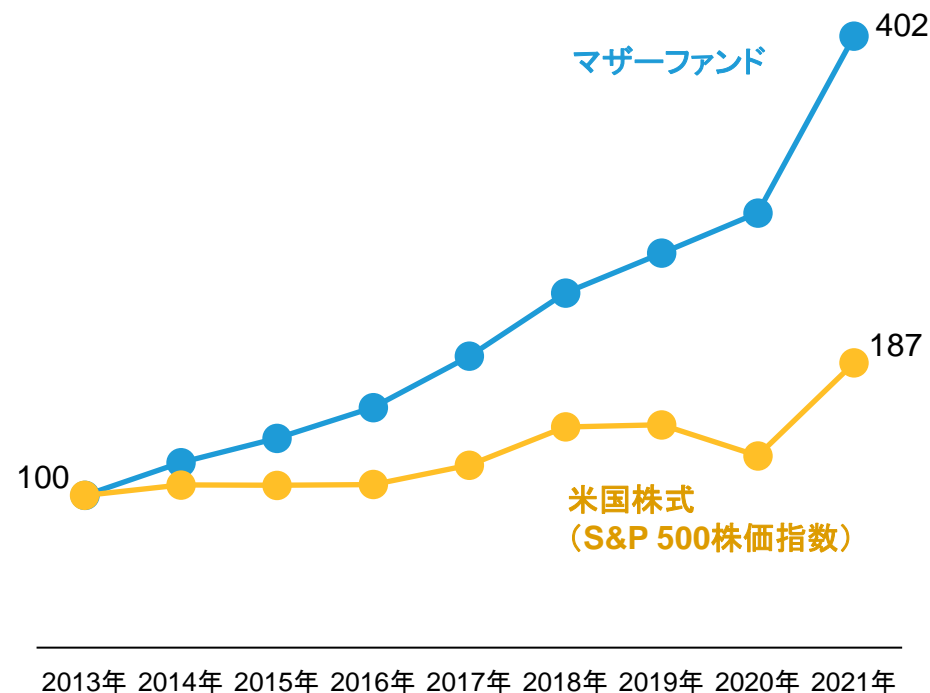
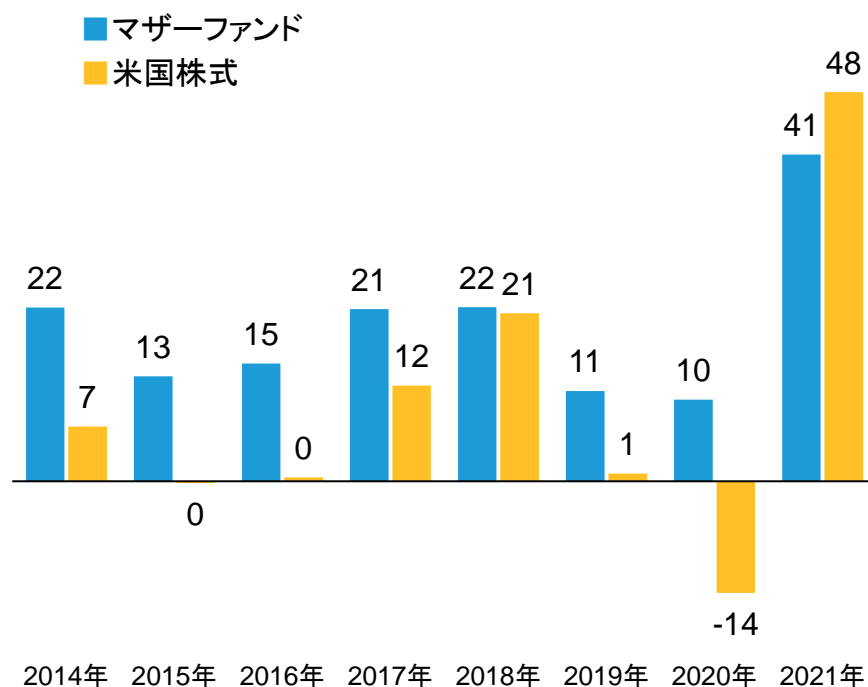
出所：ブルームバーグ、企業レポート、ファクトセット、AB



# “持続的な成長企業”は長期的に大きなリターン格差を創出

マザーファンド1株当たり利益(EPS)成長率(%)\*

マザーファンドの1株当たり利益(EPS)の累積推移\*\*



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。

マザーファンドは「アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド」。マザーファンドの組入銘柄のEPS(赤字企業を除く)成長率を加重平均したものの。

\*期間: 2014年ー2021年。 \*\*期間: 2013年ー2021年(2013年を100として指数化)。

出所: ファクトセット、AB



# マザーファンドのポートフォリオの状況

2023年4月末現在

保有上位10銘柄(保有銘柄数:56)

銘柄名	セクター	組入比率	予想EPS成長率 (2023年)*
マイクロソフト	情報技術	9.7%	9.5%
ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	5.5%	12.6%
VISA	金融	5.3%	14.3%
アルファベット	コミュニケーション・サービス	4.4%	18.1%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	3.7%	黒字転換
パーテックス・ ファーマシューティカルズ	ヘルスケア	3.3%	▲1.9%
ゾエティス	ヘルスケア	3.2%	10.7%
モンスター・ビバレッジ	生活必需品	3.2%	38.3%
コストコ・ホールセール	生活必需品	3.1%	8.9%
エヌビディア	情報技術	2.9%	30.5%
上位10銘柄加重平均			+18.3%
S&P 500株価指数			+1.0%

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

上記の個別の銘柄・企業については、あくまで説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また組入れを示唆・保証するものではありません。アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドのデータに基づきます。小数点第2位を四捨五入しています。また、同一発行体で種類の異なる株式の比率は合算しています。セクター別配分は、株式部分を100%として算出しています。\*予想EPS成長率(2023年)は、2023年5月16日時点のファクトセットにおける暦年ベースのコンセンサス予想をもとにABIにて算出。出所:ファクトセット、AB

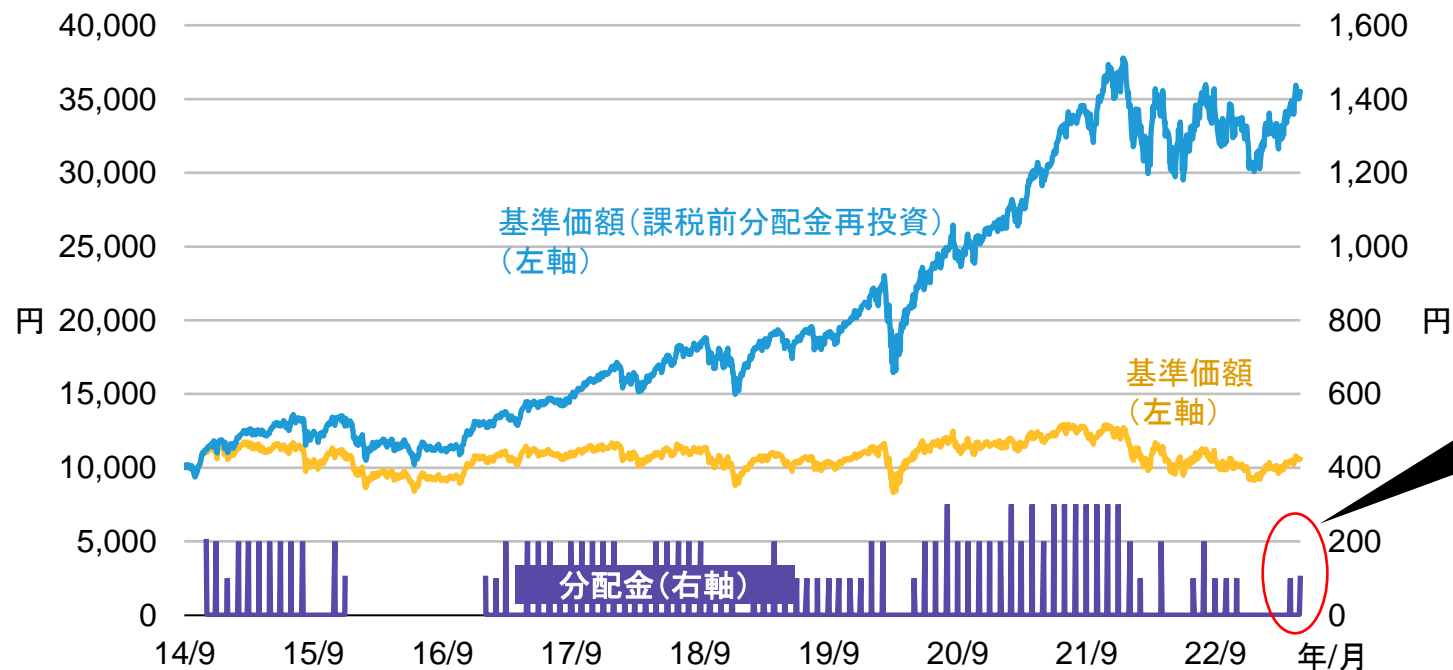


# Dコースの分配状況

Dコース: 毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型

基準価額、基準価額(課税前分配金再投資)及び分配金の推移

期間: 2014年9月16日 - 2023年5月15日



過去の実績や分析は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。基準価額(課税前分配金再投資)は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。分配金は全て1万口当たり、課税前。運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

出所: AB



当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

「クオリティ企業に注目！ ABが語る米国株式市場とAB・米国成長株投信の運用状況」 31

# <補足資料>



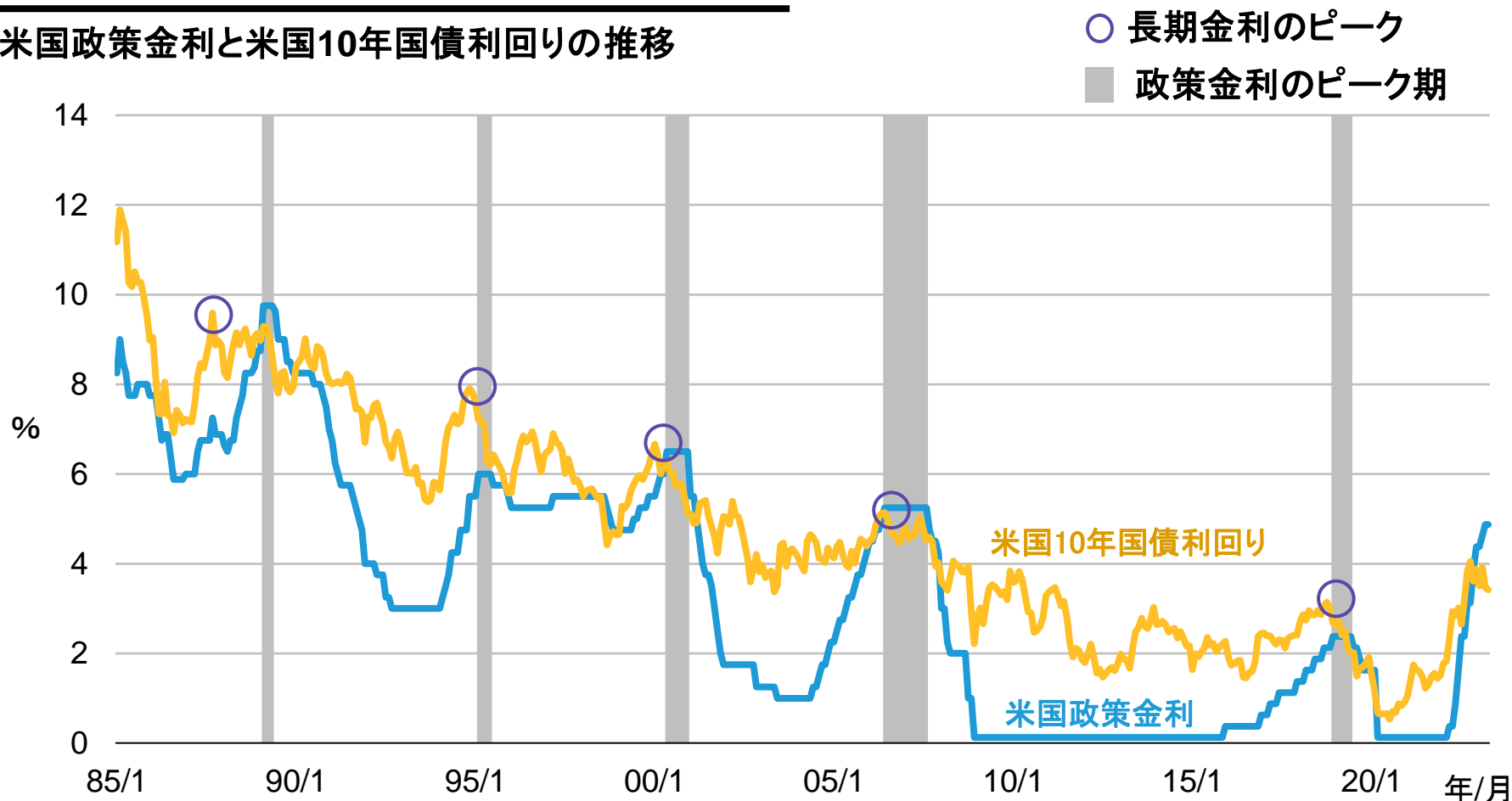
当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。



# 米国 長期金利と政策金利の推移

過去長期金利は政策金利より先にピークアウトしている

## 米国政策金利と米国10年国債利回りの推移



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

期間: 1985年1月 - 2023年4月。月次ベース。

出所: ブルームバーグ、AB

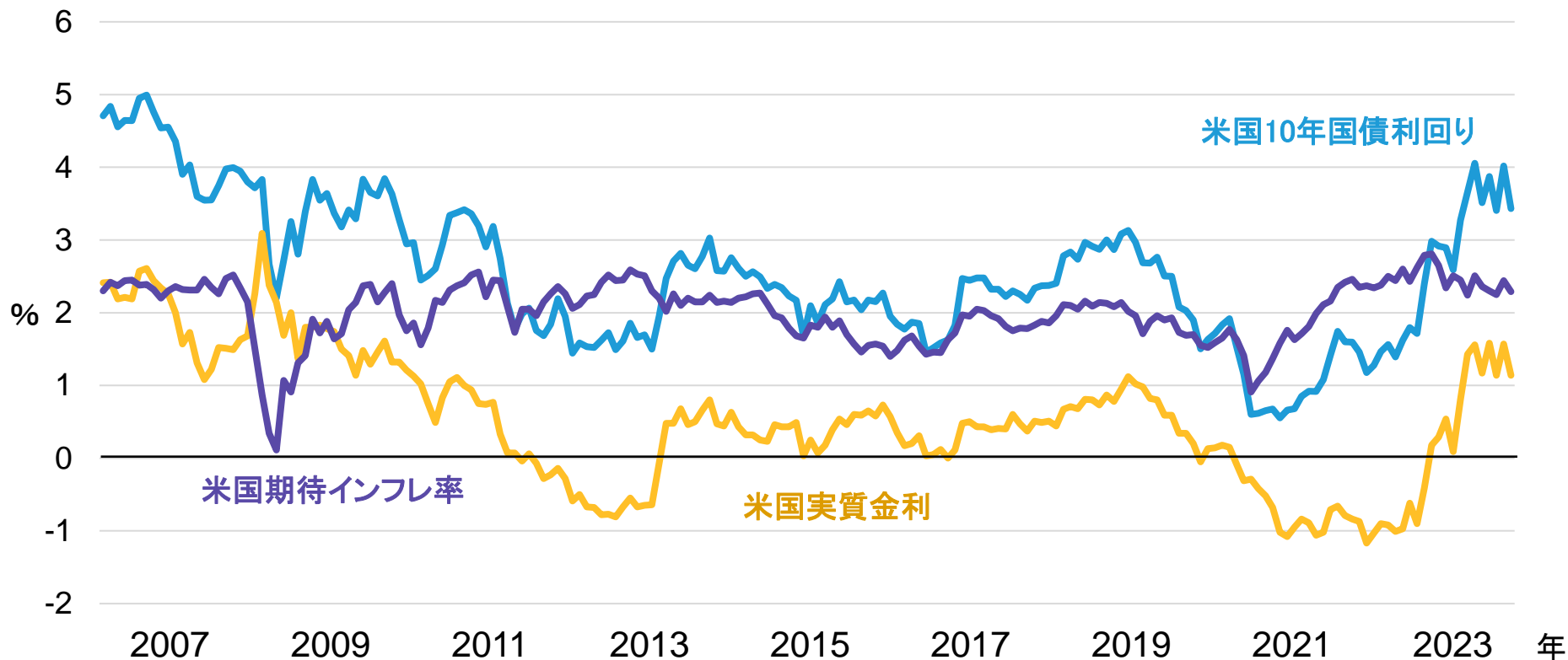


当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

# 米国 長期金利・期待インフレ率・実質金利の推移

期待インフレ率は徐々に低下する見込み

## 米国10年国債利回りと期待インフレ率、実質金利の推移



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

期間：2007年1月～2023年4月。期待インフレ率は米国10年ブレイク・イーブン・インフレ率、実質金利は米国10年物価連動国債利回り。

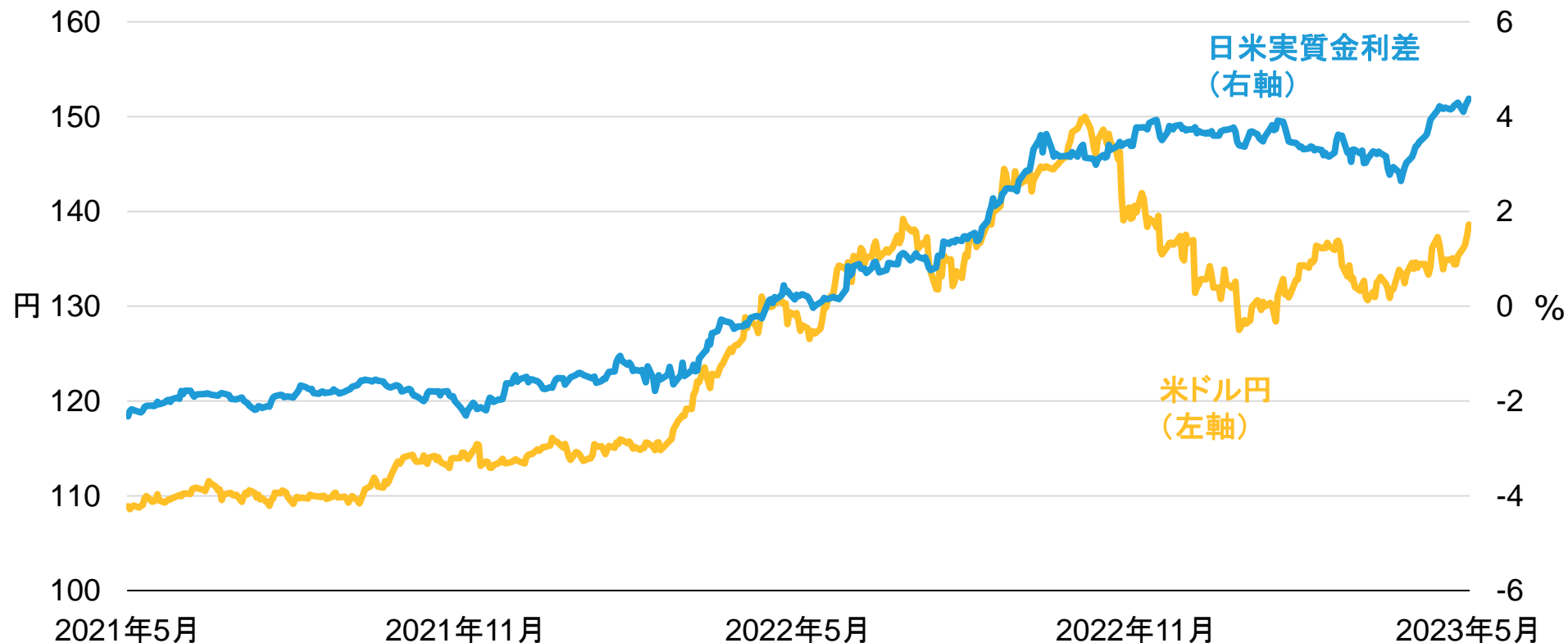
出所：リフィニティブ、AB



# 米国 当面は米ドル高バイアスが続くか

足元、日米実質金利の差は拡大しており、米ドル高バイアスが続くだろう

## 米ドル円と日米実質金利差の推移



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

期間：2021年5月18日～2023年5月18日。日次ベース。

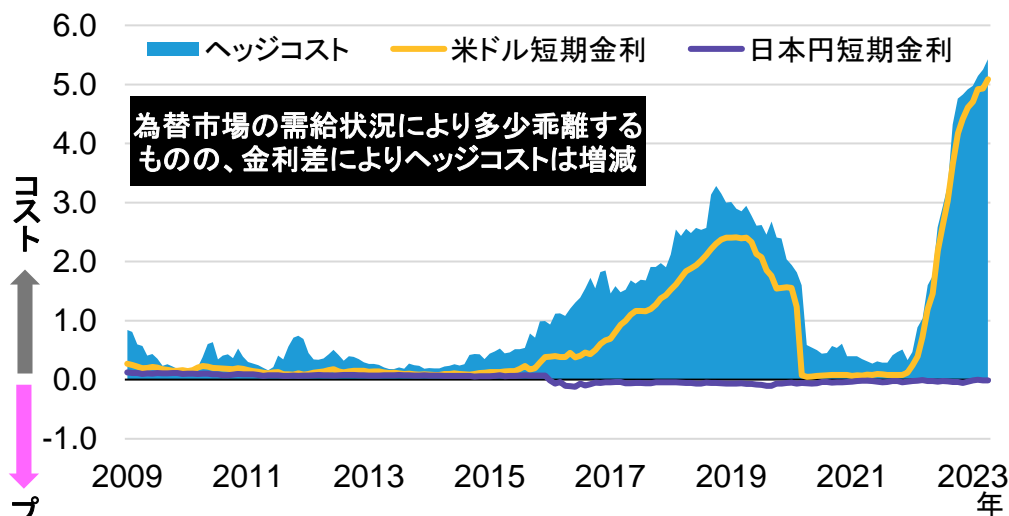
出所：リフィニティブ、AB



当資料の巻末「当資料のご利用にあたっての留意事項」をお読みください。

# 為替ヘッジコストの水準について

米ドルヘッジコストおよび米ドル・日本円短期金利の推移\*(%)



米ドル円為替レートの推移\*\* (円)



【当ファンドのコース】

コース	為替ヘッジ	決算頻度
Aコース(為替ヘッジあり)	実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。	年2回
Bコース(為替ヘッジなし)	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	年2回
Cコース(為替ヘッジあり)	実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。	毎月(年12回)
Dコース(為替ヘッジなし)	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	毎月(年12回)

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

\*期間:2009年1月-2023年4月、米ドルヘッジコストは3カ月物の実勢レート。米ドル短期金利および日本円短期金利は3カ月物OIS。月次ベース。\*\*期間:2006年1月-2023年4月、米ドル円のスポットレート。月次ベース。出所:ブルームバーグ、AB



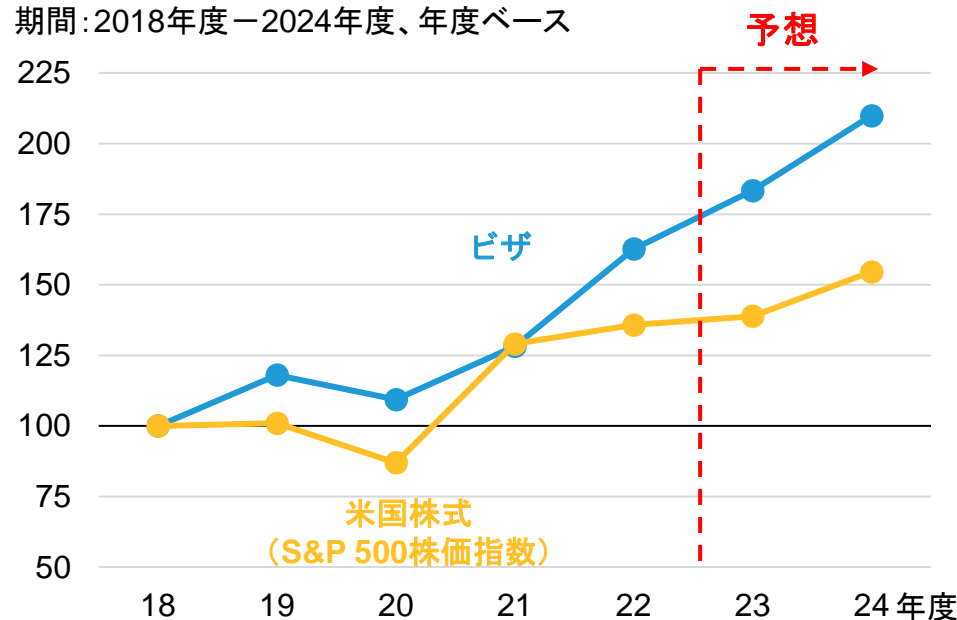
# ビザ(金融)

## 【企業概要】

- ・ クレジットカードやデビットカードでの国際ブランド「VISAカード」を運営
- ・ 現金や小切手決済から電子決済への移行が加速していることや、インターネットやモバイル・ショッピング利用による電子決済増加の恩恵を今後も受けると見込む

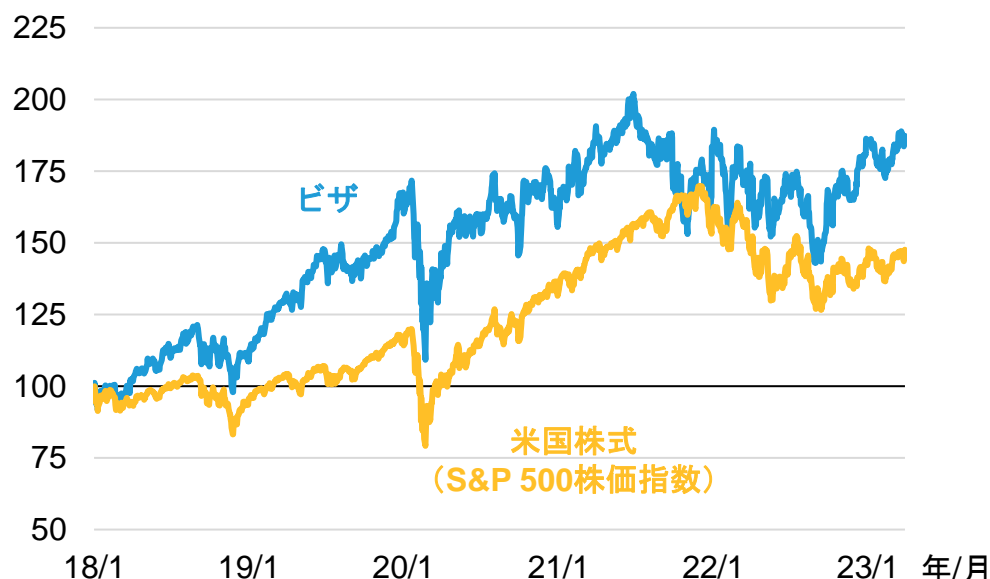
## EPS(1株当たり利益)の推移\*

期間:2018年度-2024年度、年度ベース



## 株価推移\*\*

期間:2018年1月31日-2023年4月28日、日次ベース



過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。

\* 2018年度を100として指数化。ビザのEPSは会計年度ベース、S&P 500株価指数のEPSは暦年ベース。\*\* 2018年1月31日を100として指数化。

出所:ファクトセット、ブルームバーグ、企業レポート、AB



# 受賞アワードについて

## <Morningstar Award “Fund of the Year 2021” について>

Morningstar Award “Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が判断したものです。国際株式(グローバル・除く日本)型部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド967本の中から選考されました。※モーニングスター株式会社は2023年3月30日付で、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社に社名を変更いたしました。現在、投資情報サービスおよび投信評価事業は同社の子会社であるウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

## <「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2023」について>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては「Lipper Leader Rating(リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、[lipperfundawards.com](http://lipperfundawards.com)をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

## <「R&Iファンド大賞」について>

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

# 当ファンドの主な投資リスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

## 基準価額の変動要因

### 株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

### 為替変動リスク

#### Aコース（為替ヘッジあり）／Cコース（為替ヘッジあり）予想分配金提示型

実質外貨建資産について為替予約取引などを用いて為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替相場の影響を受ける場合があります。また、対象通貨国と日本の金利差によっては、ヘッジ・コストが収益力を低下させる可能性があります。

#### Bコース（為替ヘッジなし）／Dコース（為替ヘッジなし）予想分配金提示型

実質外貨建資産に対し原則として為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

## 信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

## カントリー・リスク

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。

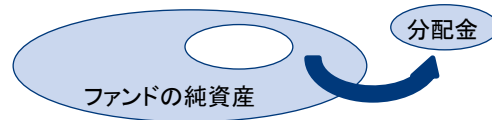
## 他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額変動のリスク

当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

# 収益分配金に関する留意事項

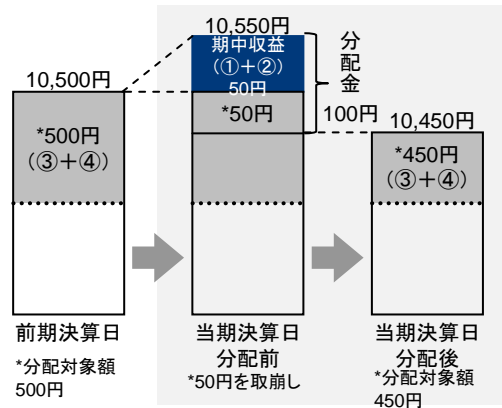
ファンドで分配金が支払われるイメージ



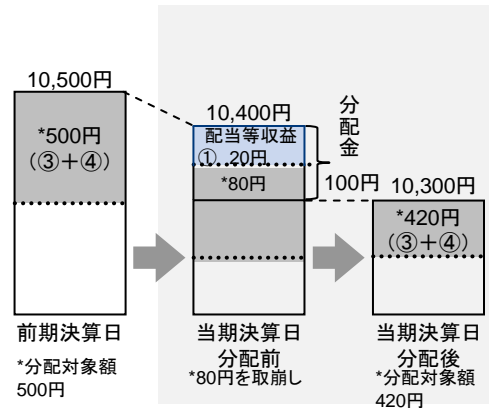
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

(計算期間中に発生した収益を超過して支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



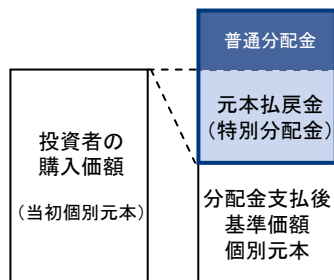
(前期決算日から基準価額が下落した場合)



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超過して支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

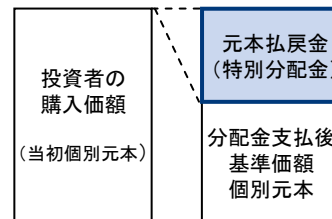
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
※左記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。  
(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。



# 当ファンドの分配方針

## Aコース／Bコースの場合

原則として、毎決算時(毎年6月15日および12月15日。休業日の場合は翌営業日)に、以下の方針に基づき分配します。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

## Cコース／Dコースの場合

原則として、毎決算時(毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に、以下の方針に基づき分配します。

- 計算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
  - 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。
- ※ 毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
- ※ 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- ※ 分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ※ Aコース、Bコース、CコースおよびDコースの分配方針の詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

# お申込みメモ(※大和証券でお申込みの場合)

## 信託期間

Aコース／Bコース: 2034年6月15日まで(信託設定日: 2006年5月25日)

Cコース／Dコース: 2034年6月15日まで(信託設定日: 2014年9月16日)

## 決算および分配

Aコース／Bコース: 原則、6月15日および12月15日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。

Cコース／Dコース: 原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は税引後再投資されます。

## 購入および換金

ニューヨーク証券取引所の休業日には、購入および換金のお申込みはできません。

### 申込締切時間

原則、午後3時までに、販売会社が受付けを完了したものを当日のお申込み分とします。

### 購入単位

100円以上1円単位\*または100口以上1口単位

\*購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記単位でご購入いただけます。

※ただしスイッチングの場合は、1口単位です。

### 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

### 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

### 換金代金

原則、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

### 換金制限

信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。

### 購入・換金

証券取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(当ファンドの投資対象国における経済、政治、社会情勢の急変等を含みます。)があるときは、購入・換金のお申込みの受付けを中止すること、および既に受付けた購入のお申込みを取消すことがあります。また、合理的な理由から信託財産に属する資産の効率的な運用が妨げられると委託会社が判断した場合は、購入のお申込みの受付けを中止することがあります。

### 信託金の

Aコース、Bコース、Cコース: 各1兆円

### 限度額

Dコース: 2兆5,000億円

# お客様にご負担いただく費用（※大和証券でお申込みの場合）

## お客様にご負担いただく費用

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

## 直接的にご負担いただく費用

**購入時手数料** 購入金額（購入申込日の翌営業日の基準価額/1万口）×購入口数に以下の手数料率を乗じた額とします。

購入金額	手数料率
1億円未満	<b>3.30% (税抜 3.0%)</b>
1億円以上5億円未満	<b>1.65% (税抜 1.5%)</b>
5億円以上10億円未満	<b>1.10% (税抜 1.0%)</b>
10億円以上	<b>0.55% (税抜 0.5%)</b>

「分配金再投資コース」を選択したご投資家が、収益分配金を再投資する場合は、無手数料とします。

## 信託財産留保額

ありません。

## スイッチング手数料

ありません。

## 信託財産で間接的にご負担いただく費用

### 運用管理費用 (信託報酬)

純資産総額に対して**年1.727% (税抜年1.57%)**の率を乗じて得た額とします。

※Aコース、Cコースおよびマザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。

※ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。

### その他の 費用・手数料

●金融商品等の売買委託手数料／外貨建資産の保管等に要する費用／信託財産に関する租税／信託事務の処理に要する諸費用等

※お客様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。

●監査費用／法定書類関係費用／受益権の管理事務に係る費用等

※純資産総額に対して年0.1% (税込)の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合があります。かかる諸費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

# ファンドの主な関係法人

- ・委託会社  
(ファンドの運用の指図を行う者)
- ・投資顧問会社  
(マザーファンド、Aコース及び  
Cコースの運用の一部の委託先)
- ・受託会社  
(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

アライアンス・バーンスタイン株式会社 [www.alliancebernstein.co.jp](http://www.alliancebernstein.co.jp)

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー、  
アライアンス・バーンスタイン・リミテッド、  
アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド、  
アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド  
三井住友信託銀行株式会社

## ■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

### 大和証券

Daiwa Securities

- 【商号等】大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
【加入協会】日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会  
／一般社団法人金融先物取引業協会  
／一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
／一般社団法人日本STO協会

## ■設定・運用は

### アライアンス・バーンスタイン

- 【商号等】アライアンス・バーンスタイン株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号  
【加入協会】一般社団法人投資信託協会／日本証券業協会  
／一般社団法人日本投資顧問業協会  
／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# 当資料のご利用にあたっての留意事項

- 当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組み入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。
- 投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料に掲載されている予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。



**ALLIANCEBERNSTEIN®**